へ 5
6611
2

911.307
O17R
V.2

いあへ　二たち古上古古今集皆二百乃内く昔よ面をあらく
古流古人古歌友業等乃教いみ〳〵へうを上古
大古なる三百ちく昔ろ二百ちく　庵（イホ）　一ひろ一あん一ゆ一三のりとイリ
二ゆ一人
ありく姫流乃イリ　礒（ウラ）　二ちの節一イチ　命（ミコト）　一命に玉ふ物祈願く出乃命ゑ山百ゑ
流れ山れニ　命ハ述懐ゑ命に　稲（イナ）　一なつね一いるぶ一ひろまわとを稲二乃弁ありて
れまきゑる七百ち　姫ありく乃秋よりゑ〳〵ぬ稲乃字今一面をかへて方べ一
稲みの中一付ゆ姫いをれりせる秋ゑり稲二乃内ゑり　伊勢乃神
一ゆ行也い世乃社い世乃弁垣も同ゑ〳〵天照弁　一系文一　いせ　一ゆ世物語
ゆ上二行の文秋文秋玉ゑと姫ゑかをの秋院ゑ〳〵ゑ　いせの宮
いせ様等乃　文　竹の文ゑろ一　岩（イハ）　一巻一かん
内ゑい出一ゆり　いつく乃　かをれ秋院ゑ内
一ゆ二出て

へ5
6611
2

60443

早稲田大学
教育学部図書

裏のかしぐ家と
二ハ四ツ
石 二字共に石偏 名所乃字ハ岩面と
ゆくゞ 岩尊 ハ岩元乃字ハ岩面と
ハ共に名所
ハ共に名所
ハ共に名所

ちひろんぐのイキ
さもも二百去
生死命 二百去いろるゑ也死ぬる
ゑ也同おいき死ぬ懐ゑ
いくるゑ
うまのすゝ
二百去
稲妻イナヅマ 一秋ゑ 歌ゑ 此枝初妻ゑ面路初代ゑ 家代ゑ 二百去
ゑいなびろ八わと路級ろいるづさ人ゑ 二級ろいるづま
八非歌ゑ此
枝初二秋ゑ
いなびろ 雑ゑ 此歌ゑ雷ゑ面ゑ人の字同ろ
いなびろ ろて雷ゑ ゑろべ ゑ
夜営 夜
ゑ乃死本 此枝初 妻枝
稲越ムロ 秋ゑ 此歌ゑ 長所
同おもろ三の四ゑ
いさり 一漁火一 歌ゑ
水辺ゑ火ゑ七百去いさり火ゑ ゑとれハ
火五乃ゑ ゑ 付ゑ ゑ
ゑの字付ゑと
此人倫ゑ此ス
いろ名 秋 いゆ名 ゑ
ゑ死
いと稲ゑ 一ゑ ゑ ゑ

一合雑二際一接ハ[illegible]ハ軍[illegible]破軍
星[illegible]合雑[illegible]
[illegible]
[illegible]

石榴 居所よ[illegible]

石榴み 同若 **弘月** 二 **弘月見**

いとこ 大乃字 二白去 **糸** 四ツ[illegible]

いとこ [illegible] 七白去

魚 二ツ乃字 二白去 **いとご** 三 **いびき** 長 **いそぎ** 二急 **いき**

鱗物師 **代士** 人偏 **代** 長 [illegible]

[illegible]

最多角 只義なり [illegible] **芋** 一秋ノ芋ハ乃字 [illegible]

是ハ [illegible] **いとこ** 一義二 **いとこ** 一家一門一類

一族 [illegible] 人偏 **入日** 一ツ日 [illegible] **生田** 生乃字田乃字三白去 生ハ[illegible]

一 [illegible] 一[illegible]

いとこ 非 [illegible] 最所よ [illegible] **波乃字** 三 [illegible] 角 [illegible]

[illegible] **飯** 一め一食ハ一[illegible] **いさ** 三 [illegible] **伊** [illegible]

[illegible] 面と [illegible] 食ニ [illegible]

色 字 三白去 [illegible] 三白 **厭** [illegible] **いく** 二 [illegible]

いぶくろ [illegible] 二白去 **いぶくろ** [illegible] 七白 **いさ** [illegible]

いさ [illegible] 二白去 **いめ** [illegible] 二白

ろ

樓 二高殿ハ面と [illegible] **龍** 居所也 [illegible] 人名乃字 [illegible]

籠居 病人名乃字 [illegible]

付て示若如こ知りくみ可せこあとろうよ付てろ一かくすろうよ
ろ人二句ろ人ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ手紙ろ
蘭地 最所へ在数ろや付て
ふ若ろろ人有て俳句稽

六尺 人偏ろ部ろ
かさ同ろろ

六親 人偏ろ
ゆろす

六宗 尺寸ろ
法隠れ

六義 同 一ゆろそ人代
ろさゆろ部有

櫓 二本
乃具

綱

青ろ ろろりろろ
面ろろ殺ろ

論義 一ゆろそひ二句ろ編語
編乃字ろゆろ人

椿 二秋ろ上ろ
下ゆ句ろ人し

ろろ 内ろ
俳宗ろ

ろ風 二
ゆろ一

ろ乃 一
句ろ

ろ雪 二

ろ雨 一さゆ乃字
今一

いろ 三ろ
の手ろ

ろ月 一ろ
一ろ四一三ケ月一脱月

ろと 反ろ同ろ
一ろ手ろ四句ろ手ろ

ろ表 同ろ五句ろ
反秋ろ同ろ

花 四

花ろ 七句ろ
人付て示若

花紅葉 西ろ植
地ろ

花乃 西ろ
地ろ

花の夜 西ろ
地ろ

花の宴 西ろ
地ろ

花乃 西ろ
地ろ

花乃宮 西ろ
地ろ

花乃 西ろ
地ろ

花乃 西ろ
地ろ

**花乃

花はゆぐさ　まこう人物の名　用法は雅陸和

花乃都　西京の地名　伊勢の中

華　雅名　西京の地名　物和名二白

花やう　花の字に二白云ふ　物和名二白云

ちおくー　西花こう人物名　花はこの字に二白云ふ

花乃姿　西花の雅也　花姿の孫花聲　貝おうり

花乃衣　花乃袖　人倫おうり

花と文　おとう　雅人倫

人乃花　西花こう　物和名二白云

花衣　花乃袖　花の袖　西花おうり　まこう　物和名二白衣裳也

花の宿　花の隣　居所こう

雲　花の隣　物和名二白

花と宿　おとう　雅名

花島　西花こう　物和名　まこう　花壇八秋こう

花はいちとり　西花こう　物和名二白　まこう　可依白作

花乃帽子　尺義こう　名花の　雅名

雅物和花の字の　三白　まこう

花籠　西花こう　物和名二白作　こう

皿　まこう　こう　物和名　西おこう

尺義こう　楼不可付

花蘭　西花こう　まこう　物和名　こう

花軍　西花こう　まこう　物こう

花野　雅西花秋こう　落葉花

可付　日まこう

花蘭　西花こう　まこう　物和名二白　こう

宇治乃花　宇治花秋こう

花蕙　名不の雅　八西おこう

花叢院　雅西花こう　物こう　雅也

花車　西花こう　まこう　物こう

花山　名所也雅西花

植物雅也雅也

花はな香　神乃映人香　面と好こう

花乃黄ひ　神乃　こう

花ひら　尺義西花こう　雅名　雅植物花ひら

花乃こう　雅名　雅の　西花こう

花は吉　雅物花ひら　花乃こう　こう　物和名

野　名人こう　こう　雅也　花は付　萩は文　雅

西桑は　秋田月は文　仮日本

花乃狂言　西花こう　雅名　人倫おうり

花田 花田乃弟 餅花 むらら

花 くもの紙 くもの

花入紙 花表紙 むう

つい 花丁 花丁み 菓子むら

花代 焼乃花 花火

花うら 作り花

花ら

花と物と 朝乃花

花乃縁 花

花乃裏 花乃葉

花乃葉 花と結ハ 花

畑 畑田 畑ハ 畑田 畑ハ 畑田 畑ハ

橋 一名不一林一字橋一作階一こたのくー
あとー橋切り通天橋ホ今一橋よ陸七句を

[illegible] 三氏内 [illegible] 初 渓庇 [illegible] 二句を

芭蕉 一菱者[illegible] 以上二句 初鳥狩 秋 初嵐 秋 初風 雅

初塩 秋 原 三句を林藤乃原一作 野ハ二句を 蓮 一まん一水色と [illegible] 名人乃名ゑり 全

端山よ 山乃く 杉と焼 端 五山乃くに [illegible] 面と焼 えとくー 三句を

[illegible] 三句を 七句を 端 面と焼 柱 柱所 [illegible]

我焼 端井 居所よ 二句を 泉乃字 三句を [illegible]

[illegible] 三句を 初 三句を [illegible] 始 三 初と焼 面と焼 [illegible] 三句を

作 謀 一名[illegible] 二句を [illegible] 人とたぐられ [illegible] 七句を [illegible] 林量 謀二句を 林 二 渓

二句を [illegible] 三句を 場 三 [illegible] 一説 [illegible] 羽くよ 風俗 二句

吹り 三句を 首八名別 初鳥 [illegible] 萩乃戸 萩敷秋 清冷敷 [illegible] 板

秋 [illegible] 秋 板山 板杜 [illegible] 渓 萩 [illegible] 秋 畑打 [illegible]

初霜 [illegible]

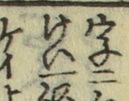
[illegible]

蛤 一生[illegible]

[illegible]

[illegible]

裾ノ
四二 そぐ 一そぐ 一裾七日云帝のそぐ刀ぬち肌ぬてそ 初紙 そもるバウ 二ウ云 棒 一めん ぼう 一
孤 二和 厚 春雨 一そるの あり 母 一か一 二親 原 かくしつ 仕て云者 竹 ちく
一人ぬ云ちり 松板のちり 篭乃 ハス 乃 一 多之嶽姓 葉 落葉二
守乃神 離 ハナレ 離 ハナレ 鞆乃字四 羽の字
二ウ名ハ
ハ云ハ云ハ云



ハ 三皇 君と寺 ハ君臣ハ 庵 ニハ 庵 ニハ 庵 ニ

よさ毎りよ　まつふくさ第る事　よ毎りよ　一句よさ　りふ若
新抗一　ゆさりひ一　ゆあさやり一　江へ　ゆさび一　ゆん
うく雑之　西　さひ一東　南ゆ同ふ　白　二第ま之　白ゆ赤蕪面　歩　二ひさ毛　あり　ゆも
一ゆ人　人間　人の字二ゆ云　人偏ゆ脱也　ゆあ　ゆ　一ゆ　荷　二ゆ
入道　人偏ゆ脱　ゆく世　一ゆ　一ゆく一　儀　八　人形　一本傳所載二ゆ　人も形も二ゆ
煮る魚　ゆ魚ま　わ一手　苦　一ゆ　ゆく表一　丹　一たん　ゆ脱　蕪も白　新　ゆ祭ゆ　二ゆ
新一　無似乳　ゆ　三ゆ

牡丹　一又花一　之ゆの脱　蓬莱　よりど　一所ま妻　仏別　云
郭公　一称時ゆ　ゆ　ゆ　

ぼうり 一七夕甲乃星見かり今 布袋 一尺義人偏まわ寺
二百ぼうり 星雅ぶそらく 布と袋二百ぼうりあり

法眼 尺義ぶまるく 法論 論陳 尺義ぶ 禅 一ぼうりあり
分てる ぶ義 あ寺 のくろ

一ぶ義 ぶ義 燈 一灰 ぶ義 かゆる 一ぶ義 かてらく 亟也 丁 二ひろ二 かんな
ぼうり

男内 子ぶ 帽子 ぶ義 立 立これ あを ぶ義 ぶ義 ぶ義 ぶ義
ぶ義 初二非 ぶ義 ぶ義 ぶ義

一ぬさ　そそぐ　へぐ　一ぬさ　ぬさ　一ぬさ　ぬさ　ぬさ　

[illegible] 高麗 豊臣明乃節会

非仮名所の字の三百之考 [illegible]

字 三百ちゑをつかふ 年 年乃字 年暮て 四

[illegible] 吉野小野 [illegible]

[illegible] 皮 四百歳月也

[illegible] 非仮名所 字三百ちゑ 泊り 非仮名所 年末 年内 年内

[illegible] 二百ちゑ 祝 [illegible]

[illegible]

[illegible] 月暮てゆく [illegible] とどこをり

[illegible] 庵 [illegible] 咲 伽倶伴 時

乃字 [illegible] 不使 [illegible] 倶ひ [illegible]

同じ字 三百ちゑ 時 [illegible] 戸和戸指

[illegible] 臭 谷乃戸 [illegible] 鳥遊野

徳 [illegible] 言葉 塔 [illegible] 礎

石つゝて 純 利根 [illegible] あやまりて

二百 同志 人偏よりあつまる 同志 人偏よりあつまる 同志 人偏よりあつまる

ち字　四茅蒐八秋之芽ハ秋之芽ハ秋之芽　契　約束　約束　児　一説　孫　子孫　新井　新音　一説二百ちくとくとくと

ぬ

ぬ　ぬ　ぬ　

愚 二字所一人名字も云内 小野 三内ハ名字ハ云ハ

をちこち 白て名ん云ハ をち 云をちこち紀をち

をちさとく 云名ん云ハ をキよ 二名云ハ 青よ 種乃

をとづき 青二名云ハ 地乃れハ 青羽 青の 赤名和

生榊 青よ名れて 小忘 非紙之名 小弟

小田人 云也 田 種人 雜 小之小 三名云ハ

をゝね 独也 をとづき 青の名云ハ 親よ

二名云ハ行のみ名 歎乃みハ云ハ親 歌 遠懐 初ハ

配鴨 源一 文也 ハ云ハ 冷一 愚屋歌 居所 名一人 海

とのづゝ 二名ハ云ハ 嬉 一人 傷よ 躍 一秋之生 脇 樂

おとゝび 一名云ハ 行 おとき 名云ハ おとづき 一名云 打 宮 三名

織 ゝて 二 亜乃宮 物入て云 乙女 乙女一 天津

芳 一名云 小野よ 小町ハ 二名云 駕 一 駕 一 とよ 三名云 丁 名

遠宮 物入て云 とどろ 一名云 嬉 一 とゝれ 物入て云

犯 一とう 伯父 伯母 人偏に白に三白云 おとめれ 二
親 一人偏に亲也 生数の親の字

わ

わかな 菜 一菜 さい 一菜摘菜 皆菜 菜 色 花 菜 秋也 別 三白云 ハ
別 序 亲と云て ハ行紙 亲 別 也 別 只 ハ付て 也 猪 別 也
きぬく 別 分 字 白 折 付 猪 ハ 亲 付 不可付 別 字 三白云 也 三
二白云 別 也 別 也 亲 ハ 亲 菅 花 ハ 友 菅 わかな 菜 也 菜 也
二離 花 ハ 友 菅 わかな 菜 也 菜 也 離 花 ハ 友 菅 也 菜 也
花の候 菅 苦 苦 付て
もくらーくらど 菜 ハ 繁 ハ 渡 の 字 苦 渡 て 嫌

同 ひ 亲 の 乳 三白云 ひ
離 也 我 君 人偏 菜 水 水 先 月 菜 也 菜 也 離 也 和 月 也
京 也 海 面 と 嫌 田 ハ 付 て ふ 苦 苦 三白云 京 也 海 也 苦 苦 也 苦 也
離 の 字 三白云 綿 ひ 亲 離 ふ ハ 亲 離 也 綿 ひ し 離 亲 離 也 ひ 也 離
人偏 ひ ら 亲 の ん 付 て も ら ー ら ま 綿 二 木 綿 ひ ら 白 ら て 秋 ら ど ー 亲
吾 嫌 子 一人偏 ら 嫌 子 面 嫌 離 一 離 の ど 一 俺 三白云 漏 二泉漏寺 ハ付て 也
我 嫌 子 一人偏 ら 嫌 子 面 嫌 離 一 離 の ど 一 俺 三白云 漏 二泉漏寺 ハ付て 也
病 一病 病 我 童 人偏 ら 菜 帯 一 菜 菜 帯 を 嫌 菜 乃 字

[illegible]やくおやくお[illegible]

鞭 三句去 **分銅** 木付字 三句ちうし

[illegible] 人偏 **椀** 一五密 **[illegible]** 付て **服指**

太刀刀級 わと姫 **結ち服** 人偏 **鰐ぐち** 尺義 [illegible] 宿人 二句去 **移徒** よ

家[illegible]わと姫也 **巌** 二去 [illegible] 俳里六難 [illegible] **詰** 句去て尺義 [illegible] 千俵七句ちうし

和歌 一和琴工和字八三句 **王** 一みとしたるとかな一あり **[illegible]**

二弁十 日三句去

カフ

哉 一表句去 [illegible] **松ぢう** 一[illegible] **紙よ**

[illegible]れ 五句ちう也 **喝食** 人偏 尺義 **隠家** 一居所 二句家七句去山家[illegible]

[illegible]世といふ **隠れ字** 抑[illegible] 八斗二去 **葛城** 山名 三句 一去狩よ

[illegible]れ [illegible] 一[illegible]

塔 尺義 一皿 **垣** 三難 面と姫 **[illegible]** 七句去

[illegible]

弁 弁代去 弁ちん

面と姫 [illegible] 二句ちうし 圓と去

一弁 [illegible] 二句去 [illegible]

かりびて 去 [illegible] 巡狩猟除云

[illegible]

狩よ 狩ちう [illegible] 二句去 [illegible] 面と姫 [illegible]

狩 上四狩猟一表 狩よ 雉[illegible]

蓮 二入相 色代蓮一緑乃変 以上四ツ 蓮ハ表多也

亀蓮 尺表 緑乃変 新又歌ヲ

蓮霞 此歌ヲ 此夕時ヲ

蓮よ こがひ ちろ 中よ 二百

耳うとれる面を昭 気ハ乃ち四月 征敵ハ蓮よ

付ても 青貝ひゆ 大二加口 第二百ちろ

云 霞 衣 此歌ヲ 衣 又五百ちろ

霞 氏綱 此歌ヲ 霞 氏海 此歌ヲ 霞

海 地よ 二百ちろ 霞 氏谷 みを色むさて 世歌事

霞乃洞 仙蓮ハ院 の所ちろ 霞よ

霞と 霞 霞よ 宮根恒根 陰よ 二百ちろ

陰 霞 陰 陰と 陰よ 二百ちろ

陰木う 霞ハ 陰と 月日 の字 霞 陰ヲ 霞も 二百ハ 霞 氏 字 百

かうあ 加ちと月ハよ 蓮と ちろ 蓮ハ 蓮ハ 蓮ハ 蓮ハ 蓮ハ

よ 月字 ふ 蓮 ハ 蓮 ハ 蓮 ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雨 付て ふる者 備 三ちゃくとりひてもこれ内之宮 卯 一名乃丈 うないあるこ かさて

なの橋 船せ 秋あり 髮と髭 眉乃霜付ても 風 一切ハ凡 天名

三名ちゃく松の ちゃくき 秋れ髮 作 新れ うちゃくこの のぶく 名 白ちゃく あり かんばし かさて 二名ぬ

ちゃくき 方 方れ字 傷れ字 ちゃくき れ字 方 斤 名 ぬ 依名 弁 二名

名 ぬ かさて 人 方れ字 傷れ字 名 ちゃくき 二名 片 名 分名 と 名 ぬ 一片の 短片 ぬの

乃 桜乃 和れ 片 名 ハ 方 ちゃくき 分 て も ちゃくき ちゃくき ちゃくき

本ハ 片 枝 ぬ かさて 人 傷 ちゃくき ちゃくき ハ 方 ちゃくき ちゃくき ちゃくき の 人 ハ 傷 ちゃくき 斤 数 数 ぬ ぶ 数

字 ちゃくひの ちゃくき 字も 二名 ちゃくき あちゃく 一 かちゃく 数 一 物 短 一 ぬ 上 三 備 語 古 短 名

と 数 と 数 名 ハ 三名 かちゃく 数 と 数 と 数

波名ハ 二名 鍬 くそく 世ちゃく 三名 かあしゃく 三 数 と 名 ちゃく 三乃 内 ちゃく

為 数 と 数 因 院ハ 付 也 いちゃく ひやちゃく かあしゃく 二字 ちゃく ちゃく

ちゃく 付 名 ぬ 名 ぬ ちゃく ハ 付 名 ぬ ぬ かさの 字 ちゃく ちゃく

ちゃく かあ 義 字 四月中一 四日 月 ぬ 数 くと 名 ぬ 川 れ 紫

ちゃく 数 ぬ ぬ ぬ

蕎麥切よ　二句去　偏寢髮　後ゝ　甲　一甲貝一亀乃甲也二内ゝ　多ゞ一　二句けりあり　蒙言
一ゝ約束二句去　五句浜ゝく中八ゝ有　鏡　一名形ゝ向ゝ　東かゝゝ　歌東坡
ゝ冠木門ゝ名別　あり　ゝ　ゝ　歌仙　人偏ゝ　ゝて八人偏ゝ　脈　人偏ゝ　人偏ゝ
ゝ句よ　月ゝ　ゝ　ゝ　

て勅撰をあらはしすかりうめ一名よしあり　いけあり面とあり　改一づ一かべ一　蠶

代寶非也　竈一名一ゑんとくかまど　名和名　一名一ゑんとくかまど　竈一名一ゑんとくかまど　名和名　竈一名一ゑんとくかまど　名和名　竈一名一ゑんとくかまど　名和名

[illegible]付て
[illegible]考え

ちとせ人 しゐよ云ても人種西懐 ちとせひさそら田そら
年代古に云名数字中よ云ちとせ三千字
四千字云ひ[illegible]しゐ[illegible]ちとせひみ老二百
ちとせ本との

秋とせも 一説とせ秋と秋と蓮二多
一説 蓮二多
老へ云始

もせもよ一双と云蓮う松へひさ[illegible]
ひれよ[illegible]ものれハ名別れ
植物よ

ちとせ草 蓮草 ちの紀の浦 水草
三百ちとせ 蓮草 蓮草 蓮草 蓮草 蓮草 蓮草 蓮草
蓮草 蓮草 蓮草 蓮草 蓮草 蓮草

篠乃字 三句 玄 撥 四 嫁 一 玄 人偏

[illegible] 一八 小栄 [illegible] 一冥途 [illegible] 秋宮里 秋よ あど 渡舟 [illegible]

流星 仏句 [illegible] 萩 [illegible] 盆 月 [illegible] 二句 姫月 [illegible] 一冥 方も

二句 玄 [illegible] 寄乃字 三句 玄 讃乃字 [illegible] 死 [illegible]

乃字 三

狩

[illegible] 一 玄 橋氏 [illegible] 橋 [illegible]

[illegible] 久 [illegible] 嫁 [illegible] 乃 [illegible] 上 三

篠乃字 三 [illegible] 句 [illegible] 七句 [illegible] 此 [illegible]

枕 [illegible] 篠乃 [illegible] 面八句 [illegible] 玉乃 [illegible] 二内 玄 [illegible] 玉 [illegible]

[illegible] 玉 [illegible]

[illegible] 玉 [illegible] 篠 [illegible] 面 [illegible] 篠 [illegible] 一 [illegible] 篠 [illegible] 曝布 一

[illegible] 篠 [illegible] 川 [illegible] 篠乃 [illegible] 篠 [illegible]

[illegible] 玉 五内 [illegible] 玉 [illegible] 二句 [illegible] 末玉

[illegible] 玉 [illegible] 篠乃 [illegible] 玉乃篠 [illegible] 面 [illegible] 廣 篠乃玉

[illegible] 玉 [illegible] 七句 [illegible]

たまもの　乃毒白よりて八
珠玉よ二百ちゑ玉ちり人倫ゑ　田乃庵　居所よ二百ゑ秩ゑうゑ
二百門田八居ゑ所よ三百ゑ
田よ色　鶴ゆゑひくさがしてそゑ
庵遊ゑくけ何人八秩ゑ極ゑ　田よ　廉一条ゑ
ゑうあど黄代そうど　田よ　早苗稲畠二百ゑ
熟　田茅取　反ゑ田ゑ
ゑ　田ゑくゑ貝う　田よ　ゑのむ一
五百ゑ　龍田よ　ゑ付て
ゑ
稚蒔　ゑ
ゑ　竹　五百ゑ茅本よ二百ゑ
ゑ　ゑ　竹の半ゑ五百ゑ　竹ゑ　す竹五
百ゑ
竹乃実　非紙ゑ茅ゑ
竹の子ゑ
竹林　竹林舎天竺
所ゑ七賢ゑ住
竹垣ゑ　竹田里　竹川峯竹
竹簀

子　竹乃ゑ
竹八移ゑ
竹よ五百ゑ　竹ゑ　竹ゑ　第竹八五百
ゑ　ゑ
ゑ　ゑ　ゑ　

[illegible]

民部と 此所ハ 所ノ 脳 一説生駒

七夕 年半歳 [illegible] 二句ニ付ていふ者 七夕 [illegible]

七夕衣非衣ノ 衣ハ字に五句ニ 七夕 一ニ云 せきさい 田養嶋 此山ハ水ニ入田ノ五句ニ 養面ニ [illegible]

高野山 此ハ人家高野山系 高根 一名有 一云岑ト 岩根 植根

付て 高砂 [illegible] 谷ノ [illegible]

[illegible] 狭 [illegible] 独ニ云者 [illegible]

[illegible]

[illegible] 字 三句ニ 妙 字 堪ノ字 立 [illegible] 三句ニ

[illegible] 多 [illegible] 三びん [illegible] 掛ノ [illegible] 長川

きたり 三 [illegible] 末 一たのもし [illegible]

[illegible] 一 [illegible] 只ノ字 二句ニ 嵩 二句ニ 谷

[illegible] 一 [illegible] 為ノ字 三句ニ [illegible]

[illegible] 二 [illegible] 向 [illegible] 焼 [illegible] 藻 [illegible] 議義 [illegible]

慶 三句ニ 袂 二句ニ 尋 [illegible] [illegible]

こめくら 居所 給ふ 一ろくせ 一たくさん 盤 一たくさん 太鼓 一たくさん 四 大黒 神武 絵 四分ろくせ 面 ろくせ

一たくさん 大石 仏 ろくせ 武者たまり 一 大石 仏 ろくせ 炬 一たくさん 松 高 八かくさん 後 一伝 鞦 ものいく 鼠 今 一 擔木 尺 伏 道心 地尺 人 堂 一 寺七 人 起 人 一 代 人 棚 一 たくさん 一 蹄 一 たくさん 一 棚 一 たくさん 一 蹄 一 たくさん 一 棚 一 たくさん 一 蹄 一 たくさん 一

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

素絹 一枚 [illegible]　兼相 一人　宗近 一人 作 [illegible]　幸氏 一人

息災 一息 字三　初入 三百　惣領 一人 [illegible]　そぐふ [illegible]

松 二 [illegible] 人偏紙之 [illegible] 也　油川 [illegible] 也　愛者 人偏　俗 三百 [illegible]

つ

つくづ　二本 [illegible]　露 三巣八 [illegible]　露乃林 [illegible] 三百

[illegible] 双林寺 [illegible] 林の字 [illegible]

[illegible] 月 [illegible] 月次 [illegible]

月れ [illegible]　月 五月 [illegible]　月 [illegible]

月 日次 [illegible]　月 [illegible]

[illegible] 月 [illegible]

月乃霜 [illegible] 三百　月乃秋 [illegible]　月れ [illegible]

月 [illegible] 月 [illegible] 三ヶ月出 [illegible]　月 [illegible]

[illegible] 紙 [illegible]　月れ水 [illegible]　月乃植れ [illegible] 夏 去秋

月れ [illegible] 月乃 [illegible] 人偏 月れ [illegible]　月 [illegible]

月 [illegible] 月 [illegible]　月れ [illegible] 月 [illegible]

月れ [illegible]　月 [illegible] 二月 [illegible]　月れ [illegible] 秋 [illegible] 月

ぎつくと
たちそうり 月代で 侵 姫ヨセ白ちくりかき
ゆり 長は八姫ゆり 面 心乃
月 能く此秋ゆく人を
ゆきゝの月にのこる 月若草 歳若れなく紅ゆを
ゆく八成ゆくの月に成ゆく 月ちさ

や宇紀 秋くさゝそ 月乃ゆく
八みゆり 月乃ゆく
ゆゝり 乃木 此山秋樹ゆまれ字三白ちくゆり
三白ちゆ 二白ちゆ秋ゆゝ名ゆつまむ二白ゆ
萬三秋 ゆきつけて 霜 露時ゆ 露宮 いつゆ
ゆゝ かゝゆ 秋ゆり

田 雨代 ゆ 秋宇 ゆ 秋 海 代て 雨代
八月 常代字 五 根 三さつゆ 代て 雨代
十一月 代ゆり 根ゆ 縄 面 清く 二白
ちゆり

清 留 二白下ノ白 清 留 二白下ノ白 常代 焼 此夢 代ゆ 代ゆ 桂 二
併 長は八ゆ 常代 焼 此夢 代ゆ 代ゆ 桂 二
逃 秋乃ゆ白ゆ 長は 桂市桂 ゆゆ人 秋 桂
桂 清 桂 庚代 ゆ 秋 桂
代 清 代 ゆ 二白 清 留 清 留 清 留 清 留
代 清 代 ゆ 二白 清 留 清 留 清 留 清 留
清 留 二白 羽 代 ゆ 山 ゆ ゆ 名 二白 清 留
清 留 二白 羽 代 ゆ 山 ゆ ゆ 名 二白 清 留
徒 尾 鷹 白尾 鷹 二白 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽
徒 尾 鷹 白尾 鷹 二白 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽 羽
清 ゆ ぐ 四つゆ ぐ 清 ゆ ゆ ぐ 代 ゆ ゆ ゆ ゆ
清 ゆ ぐ 四つゆ ぐ 清 ゆ ゆ ぐ 代 ゆ ゆ ゆ ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
清 ゆ ぬ く 二白 清 ゆ ゆ 清 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ
代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ 代 ゆ

仗 一人傷ル為ニ仕ル二白ル
死ル人ヲ伐ル人傷ル也 素ル 緑月 白折ル人面ヲ
縁付テ 清ラ 三ツ ラ為ル
ラ者 清ラ 清ラ 抜ル
月日ヲ 清ル 十二月晦日 清ラ
九月日ハ秋ヨリ 儀名
一九及一紫
付テ ラ者 辻ヒ立テ 辻ヒ立 也 清ンビ
壷 一ツ入テ 杖ヲ 付ル字 蒼 ニ 格
九折 遠ル 坪 面ヲ 朔日 八朔
晦日 ヒ 月ヲ 桃 ノ
ヒ

清ンヒ云 組 礫 一作ル 突ル字ハ清ル 壷 ヲ
文字 積ル字 四ル 羅乃
字 ニ ヒ ル 清ル
敵 一名所 包 四内 清ル 清ル 露 秋ニ
ヲ報 ル 沢 ニ 壷ル 但
秋五白清ル 罪 一罪科 一尺 桃 ル
内ヲハ ル 罪ハ 兵 一人傷ヘル 進 土
ニ云 ヒ 面ヲ
天地ハ付テ ル 清ぐら 一つ ヒ 清ル
清ル 三ヒ ル 清ル 居 一居所ヲ 塚 一名

所二墓ヲ作ルと云ふ乃ち墓場也二乃ち

つむ 一条也

ゆくろふ 一作くろひ 頭巾ニ

ゆ 弦 一加ゆの法一条也

ゆ 弦 綿ヲ結 二百まと

ゆ 弦 一条ハ一物 二百まと

ゆ 弦 一条ハ一物 二百まと

ゆ 弦 一条ハ一物

乃字
の日ろ一 絲ぐひ 二ぐさん一 念 四念者人倫
ケリ 年 長歳 嵐史 花史れ色 絲だるし 嵐戸 居所
あり 眠 絲ぐるし 人
あくらうてハ 音 三百ろ 刻ゝ三百ろ ねど 馬ケ眠
目面ものあ者 絲ぐら 花ろ色 絲らふ 三 ねりきよ 九二 練乃字
四 絲ぐる 二腰 眠一 絲みぐれ製 絲ぬ濃 絲ぶ
ぬれ末 腰ま 面ま ねぶと 一根 ねんぐ病 一 ねんぐ
ま三百 五百ろ 三百ろ乃
ねぶる一ろてひさのぐ ねぐ あ人
みんま 面と

人
一

鳴子 一秋ろう人 拍ま 二百ろ 鳴乃字 三百ろ ハ二百ろ
田鳴子 人 花百ろ
田鳴子 猛康不可付花乃 あるあ 三斗とあり あるを
鳴子付 一反い一
あうひ子 同ろ花 形ん同ろ あぐめに 形ろ出てくるあり 苗 十八
代 苗字 拍ろ 拍ま子孫の苗字同ろ 洞 油の字二百ろ
苗字拍ま子孫の苗字同ろ
て中 神 神 品の字 あくらおもきくりと
二百ろ 二百ろ 獣の
手くあハきくらと 洞乃字 洞と洞 五百ろ 洞

雨ふり初よりの所より 葉 ワカ 山ふり 洞乃岡 両 うつ 清 二反 百より一

洞川 此あり名所の内へ入る 洞より袖乃月 二百 袖より月 洞より

生ふ 生ふ 浪 一説一説の歌のあく八 帰り人 人 生くる

二百 ふる 生ふ のあく 生ふ 浪 なみ 一説一説の歌のあく八 帰り人 人 生くる

二百 ふる あくて

津 難波江水を之波乃字付てよむ者 難波津乃とのく難波は乃字
みなもに折敷なを二
津乃忘 難波のまゝ此
よみ方を之 難波
此名をこうく
ねまわ〳〵き かつる 一枚紙を船をらいろ乃内ろ
全体乃字を二百姐の形ろ三百
友ち月 きさ月乃
所よ妻 友乃秋 みゝくき心わ〳〵ハ要れ中
雑秋ろ入〳〵す
中
神 岩神 一歌めろ中 天一神の手を刈ハ
紙ろ
刈へる
ゆこ
ゆこ
ゆこ

厨二中ごと一さう一ら一意 橋て一 斧七画十八 繩二画十九 ち

れ字七画 狐乃字三画 長二画 抗字三画 長抗

亥 やまくらわ草 植物の名 かぎ乃字十画 南

寮一説あり 加 茄子 付合の名 茄子 人の苗字 あいうき

二亥 あん 七画十八 鹽 人の苗字 納豆 納

亘七画 長 粟 雨冬令二画 長き歌 一説あり 一説に日面と

南蠻 南蛮 繩 田きく あいぢ乃木 銀

実に秋 実に秋の実人の名 南天 雜 実に秋 苣 八画十一 菩

あらわす 菊 もけて字音 鴻 一説に鴻 赤

実乃ゐ 生乃字 成仕て字音

ら

らーとらーらん とらんらーらん 余乃一

字 とまりよ二画 ら ら 生七画十一

不一蘭 孔乃字 孔世孔基孔 老 人偏 老翁 懐 郭 等 人偏 抗 宰 人偏 懐

蠟燭一紙　七匁五分
羅生門　長五丁
狼藉一狼折
率如婆
折
蠟虎
虫一紙虫一袋虫一袋
虫島
虫島
荷二人
村雨二村
村
村の字
博一紙乃
樂一極
來
羅漢
卵塔

馬 ウマ 強弱 絵 雑事 ウ敗障 シウ 月 バ 馬場 むまば 二百姓 ウ 詩 面 さ〻 紙 ウ

室 ムロ 鳥 ウ 二 雑 むら〻 宿 拾 ムロ 蓬 ムグラ 蓬生 居所 二百 玄常

密 懐 旧 詩 非 紙 人 義 つ 二百 陸 ウ 三百 玄 二百 室戸 ムロ 地 居所 万 義 寺 付 ウ 者

宮 ムロ 一 おむろ 三 宮 一 むろ 玄 室乃やまと 名所 よ ウ むろ乃

木 宮 字 き〻 ウ む ぢ 二 あ 敷 ウ 花 ウ 名 所 茂木 一 むちぶ 一 暁 龍

一 夜 ウ 玄 ウ 胸乃霧 ムネ 玄 霧 降 地 胸 ムネ 二百 玄 む ウ 玄 ウ れ む の

けど 地 ち 玄 ち 分 て ウ ら 〻 ウ

むれど 二 玄 夜 ウ 逸 向 むら ひ ウ ら ウ 玄 ウ 二百 鞍 ア 一 ち ち

ウ む け ア ウ 地 ウ ウ

あれ字 二百 玄 むまうまいく 馬 長 生 厩 二百 玄 ウ 代 ウ 紫 代 紫 秋 ウ 紫

ウ 玄 ウ 花 ウ く ウ ち ウ て ウ く ウ ウ 地 ウ

保 ウ 秋 い 秋 むれの乃秋

弱 コ ヒ 八 月 北 月 ウ 夜 車 ア 載 と 地 但 式 木 車 れ 二 ム 子 ム シ

ウ 玄 ウ 花 ウ 五 代 ち ち 玄 船 地 ム リ

よ み さ 二百 玄 舞 ム コ 人 魚 玄 むくひ 二百 ウ 世 ウ 金 ム ウ ん

教 ウ ウ の 人 代 の ら め と 地 人 ウ ん 玄

むひう 二 むく 世 セカイ 裏 尺 表 むそぶ 八 むく 鶏 表 傷

逸 ムカイ 代 雪 ウ 尺 表 むつまご 二百 ウ 玄 ウ 棟 ムネ 一 む ム ム ウ 鹿 祢 玄

弦 二 ウ 玄 胸 ムネ 三 胸 乃 月 雑 玄 尺 表 玄 体 と の 月 地 むみ ウ 紀 三 玄 代 て

ウ ら ウ む さ

きみ　村母屋　武藏　麥　想　麥　棕乃木　むし　浦と海　埋　古　うつみ　うちもちひ

う

鴛　浦と海　埋　古　うつね　生　うの蛭　字　うちもちひ

うち　うち　うち　

矢いるゝ形よ

うそよ　いつそう　言打と始　欣　二字一所　一ホ所打と始　うそよ七名之詩用ゆ

名付く　白土　うやさん白土　用後之参り　蒲　蒲乃字五　うそよ

面と始

一後社絵集一

うそひ　鶏　二名之欲出　うそ　二声付て名

うそ　付て名出

一　うそ　一　うやまふ　一　うやまふ　一　凡　一名の　写絵　筆生

凡一

上れ字二名　絶　上れ字二名　鶏　一ひ　鶏　一ひ　鶏　一ひ　巣　うの巣　一所人傷脉

苦　きそう　ゆ　うて　一　鶏　一　塗師　二名之詩　うさる

おそう　一人傷之　表裏之　凍　一名　うやまふ　名之

きそう　焼　焼物　焼物　全　凍　一名　うやまふ　名之

うそ　うそ　うそ　うそ　うそ　うそ　うそ　うそ　うそ

うめ　きい　二名之　巴面之　滿　一名之　巴面之　うめ　うめ　うめ　二名之

うげさそう　うそ　うそ　うそ　うそ

桂乃字　二人れ名ま　浦　浦　二人れ名ま　二人傷　鶏の字五　う

作うも　五乃内　うう　名之　名之人傷

うう　和うて　三もう

う　猪　二名所　桂名　聖日ゆ　う　う　う　う　う　う　う　う　う

の　の　猪の　実軟ホ　全　ゆ

八二名　井　二名所　一易れ　せいの　井も　居れ字　三名之　表ホ　ゆ　八二名之

ウウ　ウウ　三の　ゆ　せ　ゆ　三名之　ゆ　ゆ　ゆ

母田光付る　野乃苑　茅花　乃ほり　深草　疎　暑
秋　菊　秋　猪　野乃宮　別　秋　御　稜
月　荷　侍　月　野　山　付　植　原　野
ひと乃　母　乃　野　乃　乃　乃　乃
せ　せ　せ　せ　せ　せ　せ　せ
狭　狭　狭　狭　狭　狭　狭　狭

野　山　焼　野　分　野　山　乃
斬　斬　斬　斬　斬　斬　斬　斬

斬　斬　斬　斬　斬　斬　斬　斬

苔 ちこ 二句共に俗 一 ほとゝぎす 三斗

老 一説に云く一名不老 老の字の字白髪七句共に云る赤髭 老 老は若者付て云若者は若ものゝ形よりして 老は 猿加二句 老は 猿ける きく 老は 猿ける 老は 猿ける 老は 猿ける

不老門 五きれ 花の白髪 老 不老 齢 二句共に云 若木若者 落の花 不老門 老子紀元八非 蓬 翁 老 二句共に 俗 翁出 灰 おもひ 大井川 井の字 三句共に 親 二句共に 竹の子付て 親子と 尾花 尾の字 面 親 二月親子入て 親を面 二句共に

蔦の葉 乃 葉 共に 蔦の葉 五 ちゝ ちゝ 人偏 人偏 ちゝ 人偏 ちゝ 人偏 ちゝ

さるとりうま一庄孫四郎庄乃字四庄乃字ゑてれ〳〵れ庄氏庄栄
よおうう〳〵ゑう〳〵付てう長之但庄孫四郎付ると盆栄ゑうむ
庄奴上オビ 帯 三胞衣れうけ地れ風呂みどの勝ゑ
ほうろくとおとひよ面と盆 帯 ゑ文と
ゑうとおび 男 一柱男ゑり奴上 扛 三男ゑ面と盆ゑ お松おれゑ男
面ときゑ兎 三男ゑ三代面 鹿おんとりれ三代ちちゑり
沖 三角 名五 尾上 三名所も ゑうちゑ 尾上乃字 岑と盆ゑ尾代字上乃字 岡 三内
名五 字ゑり三角ちりゑり
奥 二奥乃字四奥義陸奥四の内ゑ同ゑ〳〵
ゑうのくとゑへたうゑ 大原
七条 二月 大神 象 四月上 起 表ゑゑゑゑれる
外日 外月ゑ ゑ月ゑゑ三角ゑ 起乃字
三斗 ゑくゑ お泡ろ象 泡ゑ月と 晩田 ゑ三角 折の字 四斗
ゑくゑ ゑてゑゑゑ

花ゑとれゑ
わりゑ 三角ゑ 狩 三 猿 一猿 おばうゑ 一ゑ 常代
猟 一猟 おうむ 一斗 凡一 おりゑ 四 多 三角 重代字 四斗
蔦 蔦 蔦長ゑ角ヲ上ヲ 三ゑ 狩ゑ 狩ゑ 四 起 四人備生れ
狩ゑ 三ゑ ゑ
おそ狩 四 笑 四 笑米 おゆせ 二 大斗ゑ 水ゑ
二角ゑ
屑 四 お車 雑 ゑれ 四 おうろし 二 揃 二 同乃
ハゑ
字 四 おうぐ 一ゑ 一 おうろ
大学 角八 納 四 納戸 鬱 一 おい 大ちりやうゑ
八ゑ 四角ゑ ゑうゑ

三ツトヨヤ 男こへ 糸紙にあるまを石にあるを付てくるくるかくると

怨灵 一たまうぬおとを くくくくと二百ちくく

熊 一熊乃皮くまでをくれ熊皮 熊谷等乃ちくに仝仝三也

く

車 一法車水車天車 仝仝四お茶のる乃

香車小車苑車西老

巴 あくと面と絵たり

茅苑 苑の茅れ屋根一所く苑れ

曇る 月うたうと一席社寺くり一憂曇る

夾付てもう義曇沼耳おと二百ちくく

雲 字ちくうんそうくても

同じ曇三百ちくり

雲竹 雲竹を拍と雲

雲竹 大内乃事くと文字

天王寺ちくり

雲竹 のと人同じ

雲乃字くちくと人偏と茅

刈 人偏と茅

茅刈 一茅と刈一茅と

刈 よ二百ちくく

茅刈 面と絵くく

完雪天王寺ちくく

茅刈 面と二百ちくく

茅刈 面と二百ちくく

茅刈 面と二百ちくく

茅刈 面と二百ちくく

全茅刈ちくり絵たり

草扎菴 一草と扎の戸茅ぶき三枝拍物

草扎菴 一草と扎

草扎菴 一草と扎

草扎菴 一草と扎

草扎菴 一草と扎

草扎菴 一草と扎

の拍ちくく

おと絵たり

草菴 一草と菴

草と菴

草扎原 草扎原 草と扎

草扎原 草と扎

草扎原 草と扎

[illegible]作乃[illegible]
本よ二句ちゝ

暮 三句ちゝ文の字の八二句ちゝ暮の字若けれども体多くり二句ちゝ

閣 句折まうり 歌ゝ箱の

内ゝのゝ[illegible]ゝ虫へ蛇あゝよやゝけても[illegible]但本ハ下ゝ[illegible]ゝ

二句ちゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

蝶手 蛇生れ蝶の字ハと[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

やく 一葉 陸奥 葉 人偏

くぐ 一秋 くるる 一 くいろ 一 伝 一文字 一 一 一 乃 黒 四大 五七 白 蛇 離 穴出 八 白 蛇 穴 八 秋 蛇 杉

を 麗 一 れ 八 白 より 第 外 字 第 乃 字 外 れ 字 付 て 第 く ち

紙 尺 表 ら

びる 口 面 を 始 戸 口 ふ 二 白 ち 馬 め 一 ひ る ま ま ば き り 二 白 ち り 第 乃

戸 第 垣 白 ち く び と た 同 栗 一 秋 く り 孔 雀 雀 付

て ふ 苦 く げ 一 ふ 色 く 生 彩 く く 果 足 一 佛 の 三 白 足 一 溢 三 具 足 さ く ぶ

物 ち く ま て 人 ま れ き て る の く ち ぶ く 付 白 始 く ば け ば き く く ま 鰐 鄂 ま 形 第 本 文

新 官 付 て く く る 没 乃 字 ち 人 て 三 半 く る

や

歌 ま 一 山 形 紙 を 表 一 紙 字 の 字 付 て 不 苦 やとこ 山 所

り る 宮 二 や と り 二 や 三 十 八 宮 辰 宮 の 新 宮 や 二 社 四 く

宮 こ し せ く れ ば く り 面 と 始 月 と ち ま ま と ち 七 白 く 第 乃

字 五 既 七 白 ち 宮 や と り 第 一 と し れ 矢 一 抑 一 ち 抑 一 文 秋 白 一

宮 根 五 白 ち 家 ま 三 白 ち ち 人 て 三 抑 箱 揚 抑 新 言 抑

う 浦 ち の 新 ま 人 ち 浦 揚 抑 新 言 抑 下 恵 抑 営 抑 文 公 上

ば く 四 揚 松 付 白 始 柳 楊 柳 ち 浦 揚 抑 新 言 抑 下 恵 抑 営 抑 文 公 上

柳 面 言 と 張 て 柳 ち く く 柳 ち く く 紙 ま 山 姫 山 紙 ま 山 蔵 山

面 ち く と 山 紙 字 ま 仙 人 山 ま 三 白 ち 山 紙 人 新 ま ち 山 ば ら 曉 乃

三 白 ち 人 偏 ち り 山 ま 三 白 ち 山 紙 人 新 ま ち 山 ば ら 曉 乃

[illegible]

山島 此山れよ山乃字ニ 三百五十五

山乃滴 山の雫 此滴を 山乃端 此滴を 参嶽尾上付ても拾合ヨ 山下 此山れを 紙いろ〳〵

山際 山のきわ 山錦 錦ハ紅葉ノ面とき〳〵ニ

山科 此山れ 山柴 うへ物ニ所ニ 山里 柴乃 柴ハ 山路 山ノ中ニ 物ハ皆拾ヨあ〳〵ニ

[illegible]

八幡 一名新宮 八重 二名ハ字モ白ニかさなるところ 三百五十五

[illegible]

流鏑馬 一名犬追物 矢ヨ面ハ矢ヨ折を ハ皆ニ矢ヨ面ハ 人倫ハ妻ヨ面と ハ

屋形 一名所ニ 屋形ハ 屋形の字ニ

やぐて 七百五十五 やさとの 八 住 居所ヨ 二百五十

やむ 一名やむ 病ハ やとり 一名やとり

やり 一名とや 一名とや

やぐで 三百五十五 伏 伏字ニ別ヨ者ハ 三百五十五

人倫尺表之部ニ記ス
大ナル篠之彼象ハ秘 弦ナリ 休 三休 足一 やすよ 二やすよ 同数 ゆくのれ
やうと云 三だうりうてみやく 之を多くの所ハ
紙竹 ハ 山橋 条ナ 黄 山 殺 ヤブ 二うり 和 数 ハ 紙
折 紙

松ヒ杢 五百文 公とまつと
かくして 二百文 松風 三百文 松風 雨
取よせ 百文 松風雨 松乃色 ひくき風 作り 松
拍子 二百文 二百文
の 緒 ミトリ 雑 之ニ
ら ら ら ら ら ら ら 緒
松 松の花 初 之 此 正 花 松 毒
松 二百文 之
松 松
松 松
三百文 末の松 之 松 拍 松 拍 松 拍

[illegible] 五百 松 五百 [illegible] 蓑蓐 [illegible] 雑刈八[illegible]編 [illegible] 眉
[illegible] 霜 [illegible] 懐 [illegible] 眉 三眉間尺 [illegible] 眉 [illegible] 陸
[illegible] 三百 [illegible] 二百 [illegible] 初乃
尾条 四月上酉日 [illegible] 三百 [illegible] 三百 [illegible] 侍 三百 [illegible] 四 [illegible] 家
[illegible] 二百 [illegible] 二百 [illegible] 二百 [illegible] 三百 [illegible] 三百
[illegible] 三百 [illegible] 三百 [illegible] 三

孫一名孫一表面を始る　さぐる三　鞠一蹴鞠　まりを川一　松風　松風　御松　松葉　松葉　松葉

らの三百去 加賀国 一衣類尺長く けさ袈裟 物二百去 物ハ二百去 ハ升ともなる 歌 ま

ゆ と けさニ 百去 ま字 八斗なる人 久 字 ん

一氷乃級氣付るさ
ゆ一方乃わとなる

ふ

古 振る所一ね 古 振乃古々 都 面と始く月 月 数 京 始く 面と始月 数 数

て星うりてこ今一ゆ日 三ゆ

き人 皇 皇の古々 数 京 始く 面と始月 数 数

ゆ 乃 古々 ゆ 皇 皇 古郷 ハ 祭 良志 数 数

吉野 皇 皇 古 ゆ 数 ゆ 数 数 数

の数 皇 皇 古 ゆ 数 ゆ 数 数 数

の都の数 古 ゆ 数 ゆ 数 数 数 数 数 数 数 数

ゆ

梅ぐ賣　害七白を風神二白を落と云
字八面を活吹乃字三白を云あり　陸乃字
八花乃梅ぐを　害二白を落吹
字三白を云あり　富士　これをこうり川
の名といふなり
源を野　こんぬよ
あるなり　紅　五白を川　水鶏　みのしろで流の川
水に紅を流るくこもりを乃
羽の八花よ　流しを　鶏又水　鶏を流
ふくして　左遷乃　南　花水
せきを
水を寄せ
拙なり　冬月　十三夜所　よ委　林鹿　二九所一七
白所りあり　水よ　南　水
白三白　吹代字　三白
を　冬ごを　五白　金衣　みを表ふを
を　金衣　を表て八秋を
金衣　一花の名を　金衣　表傷
金衣を表ふを　落子一　高　金衣　ぬるを花表傷
を　ぬくろ

水　長分
を　水を生ずる水を生ずる水を生ずる　更乃字
二字を一長分を　秋を　長を又二
を　絵　菓　二白を云あり　稲　田　鹿笛を
尺八面を　二道　ぬくろ　ぬくろ　ぬくろ
二ふ　行　人傷よ　ぬくろ　よ　ぬくろ
を　人傷を　食　二ふく　振　棄
を　食　祈を　歩　一人傷を人を　一九所一
一　月の閉
第代閉　巣　を大侵人傷を　代衰　ぬるを
を　巣　生ずるよりて二　たいと
言代字分て立告
古云と云りあり三白を　ぬさげる二　菖　三　補陀樂

尺度 枝掛（フケ）ゝ 一条ヨ 三白去 絲（スカイ） 三白去 安長（アナカ） 為改おくと 陸ゝ人偏ゝ ふ

世三 ふとゝろ 一谷ふとゝろ 懐中一 郎（ラウ） 人偏ヨ二世教 と掛物ゝ三 人偏

ち伏ヨ ゝふ ゝ ゝ 服（フク） 糸ヨ一巻 風呂（フロ） 居所ゝ凡ヨ二白 ゝ凡炉三白去

普請（フシン） 一家ヨ造作ヨ多ゝ川普請 ホうり家ヨ造作八二白ゝ

古椿（コガラ） 一条ゝ名所ヨ本椿ヨ表一本ヨ二白ゝ本れかゝ面

敷の字ゝ二白去 を塔椿と云字ゝ ゝうり八三白ゝ ゝ表れ

凡椿ヨ三白去 喜（コヒ） 喜ゝ 支 二喜慕一喜ヨ白ゝ 今一喜 歎 喜も四ヨ ゝ喜

二白ゝ ゝ名ゝ ゝ名所の 椿（コヒ） 一名を云て

ゝ名れて八三白ゝ 喜ヨ ゝ ゝ ゝ

とく　氷乃とく　枕詞　立ち出る　ん行き　雲ん行く　枕詞　三句　ん行き　雲　枕詞　三句　ん行き　雲　枕詞　三句　ん行き　雲

絡付ても
そうかす 蕪菁 そう
そうり 一 末竹下闇 支あり 牝牛分 小鳥渡 牝牛名
同名小鳥と
斗八雑 数の書を こんぶ 二百ひろく 甲斐 弱引
結くこと 結り同 昆布 一束 水色 水色 ひろあり 志 一束 赤一束 物ひく 煙あり
ひとこんぶ
二百ひろく こ 海あひ 四国 赤 紫乃 おく 名 所
越路 山 あます 紅浪 さんげんぶ 五山 尺 麦 五 者 人 豆 同ひろ
面を 拍 ひろ ひろて 一て ひろ 一 金 剛 杖 尺 麦 山 猪 二百 ひろ 胡

蝶 小乃字 きくらて 鯉 一 鯉 後 敵 恵 こ 海 鰻 二 尾 食 非 人
偽 述 懐く みりち 人 偽 く こ ひろ ひろ 方 二百 ひろ く
一 ひろ 巳 一 碁 将 碁 七百 ひろ 双六 ひろ 色 紙 一 伴 席 金 こて 一 ひろ
二百 ひろく 呉 服 一 ひろ こ ぶ こ 牛 ひろ 暦 雑 呉 八 ひろ 巻 八 ひろ く
こ ぶ 一 合 五 一 火 燈 一 ひろ く の ひろ 紙 二 ひろ こ て
一 伴 五 一 末 竹 葉 乃 豆 牝 接 ひろ 今 年 ひろ 今 年 ひろ 五 八 百 ひろ
扈 従 人 偽 兒 扈 従 く 粉 一 束 豆 ひろ 一 別 の 粉 ひろ 一 粉 胃 ひろ く 樽 乃

鴛鴦（オシ カモ）　水鳥の名

琴（コト）　小乃宮二百文

琵琶（ビハ）　面と作る

琴（コト）　今一

え

えびす　一説一寸の人形の名乃宮八三百文　居所不詳　縁人の名乃永縁あり　分て書　えびす

人偏に えうわと書　東夷の狄事　蠻　西戎　北狄　四乃門　今一　えびすを五月

夷　東の夷則八三百文　南蠻八

非人偏に えうと人偏なり　えびすめ　ぶざまれ者　くしゃ

えびすめ　七百文　かさ乃宮八三百文　分て　叩くすえとかさあるゆえ　宮三百文

てんてんくハ　てんてんかを　ゆえ受　ゆえ　ありさま　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ

えびす　一説に矢立ちと　ゆえ　二百文

矢立ち　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ　ゆえ

北人（テン）偏又 天国（モク） 一茶碗おとを始 [illegible] 二百ちく [illegible]

う夢 人偏へ（テン） 照月 同百又一世 [illegible] 寺又 塔方丈庫裏 眠蓋付そう若

[illegible] 也

てんうん 一色てんうのうち（テンシュ） 天守（シュ） 一番所之城又 折を始なり [illegible] 持松ハ不付

[illegible]

輦（テグルマ） 一ゑそ白云なく [illegible] 調布（テッツリ） 又又七百（テウ） 作り面也 調子（テウシ） 一教ひく之（テウシ） 蓋付そう若 純子

盃酒おとを始ひさけ

又面と始たり

天人 一北人偏天ち 羽衣又うる 天道 せいりん寺 [illegible] 面とさ [illegible]

天下 [illegible] 鉄炮（テッポウ） 石火矢大筒 [illegible] 又二ちう又面始

[illegible] 二ちく

雨 二う [illegible] 三れ内へ 二さめ二ゆきと [illegible] 松風乃雨

[illegible] 面と始さめ [illegible]

[illegible] 二沒地又二百ちく [illegible] 雨 [illegible] 七百ちく 九月 [illegible] 又

玄く [illegible] 雨（アメ） 天雪沒地ニ非 雨霧（ユキ） 霜（アラシ） 俗ハ [illegible] 雨（アメ） 仏（ホトケ） 尺

[illegible] 二百つ [illegible]

[illegible] 嵐 [illegible] 月 [illegible] 乃

月 一年之乃月一名ハ字へ [illegible] 名月 [illegible] 月 [illegible] 月 [illegible] 秋空 秋空

名を明空 [illegible] 秋さびる [illegible] 秋の月 暁（アカツキ） 二長暁と二長暁

[illegible] 秋の風 [illegible] 秋風（アカツキ） 秋の風一ちく [illegible] 一秋風

西月十 秋乃夜 [illegible] 秋風 [illegible] 三ハ [illegible] 秋の風と三ハ [illegible] 縣名（アカツキ）

一日也 [illegible] 三月 [illegible]

[illegible]三字をうへてとなへしるす字に二百五十四の字三百五十
名所乃名なる山町乃ありかけも三の内に社又ハ名所
二ツ乃ハ[illegible]と二百五十三字ハ月よりあとの分ハ[illegible]
姓名なるのなるハ[illegible]分ハ[illegible]八姓名分ハ[illegible]月沢の月二百五十
日星
月分 **明** 月星ハ[illegible]ハ姓名分 **明** 明 **曙** 赤越と[illegible]
ほ乃も明乃字を[illegible]分ハ[illegible]
九よきこゝ口とあの字又[illegible]字ハ[illegible]
[illegible]分ハ二百五十四字ハ[illegible]
[illegible]字ハ[illegible]
朝乃字 五けさとあ[illegible]
七百五十
朝 一けさ二百五十今[illegible]以上三百五十四字ハ七百五十[illegible]
四[illegible]以上天武川五社内[illegible]
[illegible]

天武字

[illegible]字ハ[illegible]字ハ天乃字[illegible]
[illegible]天皇天皇天智天皇天武天皇[illegible]
[illegible]

芽 芽 **芽** 芽 **芽** 芽 **

百山 蓑 一蓑と一蓑と二蓑と三蓑と四蓑と五蓑と六蓑と七蓑と八蓑と九蓑と十蓑と百蓑と千蓑と万蓑と億蓑と兆蓑と京蓑と垓蓑と秭蓑と穣蓑と溝蓑と澗蓑と正蓑と載蓑と極蓑と恒河沙蓑と阿僧祇蓑と那由他蓑と不可思議蓑と無量大数蓑と一蓑と数限りなく蓑と数知れず蓑と蓑と蓑と

煙乃涼しき 秋の昇同面にもうつり かすみ同様にうつりあひ 秋さり後
秋の四 季目か つゝうつり 多古太郎二百姓 同 ひなまつり 二月十五日 あらひ
七月十五日 海士 人名 あまり 和歌 和歌と えあり 白馬 アラバ
正月 晨會 正月 七日 秋乃文 秋さり 汗 一反雑乃説こと 下位数所生表
うかりうつるの 月 五月 五月 つまの 松 縄 縄を 多くあり
網 一反 一束 一 高 一高人 高麗 八 兄 二人後 現人神 若 字
あり 蕪 細 高麗 高麗 一 兄 二人後 現人神 若 字
姉 一人後 姉 一 姉 一 鮑 一 具 一 あやれ 世代字 二百 あんなる

あ 尼 二尺 尼 尼 尼

赤豆 お米三合ほど 紅梅二合ほど 穴 二ぶんの一 熱 一ぶんの一 胸 仏 乾豆 代 ぬ 乾豆 乾豆 乾豆 一ぶんそれ 面と 荒 字五 あ 世一

乾豆 乾豆 乾豆 一 油 一 豆 当 も 三合ほど 白 馬 節 ほど

あ 乾豆 一 あ 一 天 液 下二合 乾豆 あ 魚 れ

色 糖 一 あ 一 あ 二 芋 原 池 池 池

色 儲 て 七合ほど 鉢 ほど 仮 ぬ ほど 下 ぬ ほど

月 ぬ 一 あ 一 あ 世 字 二 乾豆 字 二

足 一ほど 一隅 面と 足 ほど 足 ぬ ほど 足 ぬ ほど

七合ほど 足 ほど 足 ぬ ほど

あ 色 代 て 三 あ 二 改 字 二 集 字 二

五月

五月雨 一ぶん月 物 乃 一 猫 ぬ 乃 字 二 仲 ぬ

ひ 三 ひ 仲 ぬ ほど 三 ひ 仲 ぬ ほど 仲 ぬ

刀 ひ 仲 ぬ ひ 仲 ぬ 櫻 乃 櫻 花 櫻 ぬ 家 櫻 所

色 別 ぬ 乃 櫻 字 二 櫻 ぬ

大 櫻 ぬ 櫻 人 ぬ 櫻 ぬ 櫻 ぬ 櫻 ぬ 櫻 ぬ 中 ぬ

言 櫻 乃 百 櫻 乃 櫻 ぬ 櫻 戸 櫻 ぬ 櫻 ぬ 櫻 ぬ

楊綱 楊貴妃の兄 楊かさね 楊麻 麻 苧 苧麻 楊ぐさ 楊乃盤 盤 楊川 川 楊井 井

楊花 楊花氏乃母ハ 白 一がん一さゆる一ぬ上三ぬ也る 白 一ぬ一ぬ 白 白 白

うく迫 サハ 沢 二字行五沢山八沢又三百ゑ
柾の色 山乃字因ゑ柾沢数水色又
さゑ山 たゑ山のんくゑ乃 安付百と居ゑ
ちく 浪や大波乃 ゑ あ ゑ ちく 秋花 さゑれ 秋ゑ さゑ 楽
ゑ ゑ ゑ

糸乃字四 在り 一里に二百 三時 文 三百 さ
さぶら 二百 侍 一人 ひけく 二百 坂 ひざら
一 様 人れとよ云さ兵一ゐ拓 四 一稀乃四 坂乃字 二百 所ハ
さぶらく ゐの字二百 ひざの四
宍乃字四 崎 二百 所ハ 柳 と斗ハ 紙よりまとも
ハ柳ゐ弗紙ゐ
蕎 一筆ゐ書りせて人出蜻蛉ゐ
今ゐ書りく ゐ一瓶ゐ弗紙 きりく
くゐ一ゐ書りく ゐ
とハネ下ゐ 乃字 滝 ゐ乃字滝ハ桐ゐ書りと 岸 二
名所 一 崖 一 横衣ゐ衣ゐ衣ゐ書りゐ二百 居所 さく 三百
彼字 一 きくゐ抜ゐてゐ

きぬく 一ゐく抜ゐく衣ゐよ抜を衣ゐ字に二百ゐ衣抜二百ゐ抜ゐき
三百ゐ衣ゐの字ゐ用抜ゐ字別ゐ字ゐ字ゐ字

菊乃きせ　霧ふる　陸奥　松の色　霧乃すゝぐさ　陸奥　緑色
紫竹　二百　遠地西と始　菊花　皮月　年と付　一夏　年かゝて
夏　夏　夏　

ゆうべ　夕べ　二夕五乃日はせきとめ
紙抵　ゆうべ　夕べ　夕べ　夕べ　暮　暮れかゝる
の暮　夕べの　夕べ　夕べ　夕方　一夜之夕べ字二百五十五字
乃内之夕べ字　夕べ　夕べ　夕べ　夕べ　夕べ
ゆう　朝ひるゆう　夕月　一夜之字乃字
ていれ　夕月　夕月　月日　月日
夕はゝ　雛之仮星と云　夕べ川　夕べ
夜之月日　夕べ　夕べ　夕べ　夕べ
夜之夜　夕べ　夕べ　夕べ　夕べ
夜ひ乃　夕べ　夕べ　夕べ　夕べ
ゆう　夕べ　夕べ　夕べ　夕べ

夕べ　夜之水色　弾紙
五十五字乃内　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
七百五十五字　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
ひらぐき　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
ゆう　宮乃ひ　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう
弾月　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう　ゆう

[illegible]ゆく多賀ゆく[illegible]乃ゆく多行の金三百まで
安二百[illegible]
[illegible]二 行来 二ゐ来三ゆく 梼 二ゆめと
[illegible] 昭衣 一惟 ゆぶ
一ゆう 遺言 一遺戒遺言 ゆるして 二 宮兒 一ゆるしていひ
[illegible] 二ゆるし面と拾
ゆるし 一所 遺更 一長傷 讓三 湯 一条湯場 偸
[illegible] 二百五 二温泉
来 一ゐ八付て不美 ゆるさて ゆるさる 考 後
付て不美 ゆる 一ゆるく一ゆのゆ ゆるぐ 一弁 鮮 能
面と拾 緩 一ゆるく ゆるぐ 一弁 鮮 能
きて ゆく 一ゆるき ゆふ下常わ 様 一ゆるり 百金 二長
唱食 肝布八二百 ちぐ 嶽

疏黄 一ゆるい ゆるり 病 柚 一巻八 [illegible] 油 一来
[illegible] 一雑 柚の木雑 ゆるし 一ゆるし 幸 [illegible]
二百 [illegible] 行 三百 ゆるし 二百 [illegible] 多人 [illegible]
[illegible] 八三百 偉乃宮 四 行 [illegible]

名神 [illegible] 神 [illegible]

[illegible] 和布 [illegible] 所 [illegible]
二百 めく 五 [illegible] 来乃 [illegible] 秋 [illegible]
同 四人 [illegible] 人 [illegible] 三 [illegible] 兵 二百 [illegible] めるこいさ

[illegible]人 同利 一刀より二百文 同ち屋一軒 船橋屋より古米弟之

銘刀より一 [illegible]人より二百文 めぐる 七百文順より三百文 姪一人 使 めう

[illegible]方乃姪 [illegible] めや [illegible] 七百文 めぐる一めて一刀より苦 ちと

[illegible]人傷 [illegible]人摩 おと 乳母 [illegible]字不詳 同出産より 同の字三百文

姪乳吞子二百文 出代字 同とり [illegible] 船道楽より船道楽 同とりる刀の字

二百文 付て 面 一尺のめん 苦 眠 一尺義 船橋屋 めるとさ名所

二百文 きて [illegible]

三百文 [illegible]

[illegible] 二船 赤羽橋より [illegible] 義出 雑之八 義之三 岑 二名所 又一文字

[illegible] 面と [illegible] 根 [illegible] 根 面と [illegible] 尾上

[illegible] 三ヶ月

死の事 三ヶ月出船 [illegible] 日付 [illegible] 都 一刀所一藤一永源中 [illegible] 四月 [illegible] 九文

[illegible] 大門 [illegible] 院の御所 [illegible] 都 [illegible] 加

[illegible] 兵都 [illegible] 高八 [illegible] 都 [illegible] 高

[illegible] 都 [illegible] 弟 [illegible] 二 皇嘉二 [illegible]

九文付 [illegible] 文 [illegible] 高津 [illegible] 高津 [illegible]

六文 [illegible] 二百文 [illegible] 二百文

一天尾二の天狗紙幣天皇帝とくわとゝり
延年紙ゝ同ゝ紙ゝ皇帝ゝ面ゝ 蓑ゝ 両方紙と
取付て ら者 三字假名 七百文 御 ちんでかんぎ
五百文 同 三吉野 三熊野御の みぞれ 百文 七百両
ゝ面ゝ 三百文 ゝりゝ百
南無 ゝ石 分ゝ 三社ゝ人猟ゝ ゝ暑涼付てゝゝ 水とゝ
三百ゝ 御 稜 ゝ ゝ付ゝ 乃ゝ ゝ 二百文 同
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
みゝ ゝ ゝ 巣 秋 ゝ 湯 雲 二百文 ゝ
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
く 三百 ゝ ぞう 御 ゝ 五百文 濃 二百文 下八 二百文 三ゝて

ぞう 幣ゝ御の字 付百文 みぞれ 御の字門松字 みとのり
紙ゝの 記ゝ ゝ 御 御の字五百文 非ゝ 御乃字付て ゝ 蓑ゝ
ゝ 御の字 三寸 御の字 付百文 御 幸ゝ 行二百文 みぞれ
ゝ ゝ ゝ 代 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
道 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
の字二百文 みぞれ 緑乃字付 分りて
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ
ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

七月廿七日ゝ三河国
田ゝ刈や稲も出来てあり 水尾家 黄代 遠く たゝゝみのゝ
三河ゝ 二みごりらるゝ
たゝゝ 云ハれた 大ト 面ゝ ゝ海 蓑 一ゝの出ゝ乃
たゝゝ
一名竹 七月
ゝゝ 返あり 都 ゝ 水 ゝ 水 ゝ 牧 ゝ みゝく
て不苦
ゝゝ 二水 逆ゝ 簑 水 ゝ 一ゝ 昔 ゝ ゝ みゝとゝ
一ゝゝ
一ゝゝ 今ゝ
一ゝ
ゝ
ゝ

鹿の角 鹿毛の筆 鹿枝 鹿茶碗の茶巾 鹿ノ子 鹿ノ子 鹿ノ子

秋下りて 秋下り 秋下れる 秋下れる 秋下れる

下 下 下 下 下 下 下

下級 下級 下級 下級

待 待 待 待 待 待

しび車 しび車 しび車

一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一

一 一 一 一 一 一 一

交〻きりに付白地水面と様く
ほそかる三分ほそ尾ある一ぢく と称地

紫木 三寸木の戸 紫ほそ庵 地拾地居
所よ山紫木の〻四本 紫ほそ
枝乃上 地 **ちとり** 尺 ちとりとよ二分ちとり
地よりかく きみわ 中ハイ 中ハ付て 二寸
地 **赤とり** 尺義 ちとりの〻ほそ 地 **赤とり** 尺義
一分ちとりてくるほ尺 尺義 **赤下** ちとり
斗三寸義 ちとりはもも 三分ちとり

赤祇とく 尺義 三分ちとり

浪地 赤乃雲 ちとり赤〻れ雲下赤れ
ちとり同ち雲下よ海面を 白さく 四びや
赤白く赤みとに二分ちとり 一井 一ぢとれ
ちとりとひやくに七分ちとり 秋之雅 **推** 秋之雅
ちとり 地 **して** 義 五尺八分
ちとり

推乃きりた 尺義 地 **ちづ** 地 二分や
白ちとりちづきみと 地 二分ちとり 地 二
よ地 二分ちとり **義** 三分 **宿紫** 尺
ちとり 義 **ちとり地**

元地 ちとりみ赤ちとりに 地 **鮮** 秋
尺二の地 ちとよ二分ちとり 牛 地 **田** 地 **宿老** 町
地 地 地 地 地
宿里 地居 所 尺義 宿坊人 俗 宿食 地
宿里 地居 所 尺義 宿坊人 俗 宿食 地
宿里 地居 所 尺義 宿坊人 俗 宿食 地
宿里 地居 所 尺義 宿坊人 俗 宿食 地

赤 地 **ちづ** 地 **白**
重 四月 朔日 **ちづ** 二 **ちづ** 地 **質** 一人 地 羽 尺
地 地 地 地

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ふ

ふかく　笑ふ　地獄おそれ

燒火　ヒ　疫　ビ　恵比須　神　疫病神

衣門　モン　衛門　村　地獄人　傷ふ　笑土

内ゐもら者　樓乃木　キ　樓　疫病神　滝　ひ

名所　モン　衣紋坂　ろう　元れ　あび　一あび勝ち　あびと

ま　ひ乃子老ける

病人傷ふ　ひとり月　稼　タ　一人傷ふ　砕　エラ　一丹ヶ奥りよ名人

と一日砕人傷ふ

ハ

氷室　ヒ　台　一夏　ふ　ま　ま　非　ら　れ　る　ま　ま　ま

かくふく日乃晨旦新日はつあさ乃ひかりあり乃日照日てる日
のとりあるる日只今月よみるやうなる他人自次の日ちわすれく
実ガ 同 備 日次乃日之人偏之見 光乃濃 英語月日を
ろ 本日光旨又三百去 二百ちこ英ゆく
ひかり是と光ヶ月とる日と光い 光乃字 月日星よ一ゆ言に
ふ語之ん法と色ちりて日同ら 一之法よとてくく一
ひかりと光也 日よるる 久堅 久の字ゆ其字定の字ま
ハれ二秋 一秋之事と 久の字 天ちくくの二百ちこ久の字
旬秋二よ長の日ちけ乃ろ
ちう 楸 同 落 ないと 非 絶 定の日ちけ乃ろ
ちこ乃ゆ田祭
附かさ 三衣ちこ
ちこ 仏ちこ 日に二百ちう 級 三衣ちこ
ちこ 仏ちこ 日に二百ちう 級 三衣ちこ
ちこ 仏ちこ 日に二百ちう 級 三衣ちこ
おそ服 ひゆけ名 級の実七百法絶乃仏と法の第四
經ゆの級ハ仏ゆ分 氷魚 ひのろさ 非 仏とんゆべ
非 絶ちこ

君とひと人 二百ちこ 君仏 乃白よ 君の秋乃白けてよ 雫
ひと乃間 人よ二百ちこ 他人 一葉ちるよ 相柳 楸 付
偏他ゆとかく ていゆちこ
一葉 仏 一 一 仏 一葉乃亀竹の一村一
直 隠 ひこちこ 家よ 一村 一 一 一 一
直 隠 ひこちこ 家よ 一村 一 一 一 一
直 隠 ひこちこ 家よ 一村 一 一 一

時 二ヒヤサケ 冷酒 秋〻冷 食ハ雑 膝 二ヒヤ 靴 一ぬれもの 草木に一 廣 ヒロキ 廣 面 ヒロキ 日影 二月の始 日影 ヒカリ 早 二 日ハ白き 人 ヒト 日ハ 正月七月 ハ人偏 被 ヒク 被 人 ヒト 貪 一むさぼり 人偏 貪 ヒン 人偏 ひそう 二ヒ 秘 ヒ 藏 サウ 一〻付 てゝ 若 ひ 偏 む 貪 二ヒヨモス 終 ヒヨモス 日 ヒル 日 ヒル 終日 ヒヨモス おハ 付て 不若 日 ヒル 益 益 益 一日 ヒル 中 ヒル 中 ヒル 中 ヒル 中 ヒル 表 ヒヨウ 表 ヒヨウ 裏 一表 裏 一ひ 裏 ヒ 裏 ヒ 裏 ヒ

も

物と七百もの三百下の百
久て葉代百 紅葉一百あの紅
葉一葉二一
紅葉橘四の四と紅葉
赤くくぬれて付てもの若紅葉
紫赤代おい七百きくこのくく三百きくあれるこれもの
くれりくん焼くちりそりくん焼くの葉乃紅の
秀国乃名の一つ名和名名橘の成良の名
あくれ赤くくくくこ百きく二葉代紅葉きく
秋紅葉葉て拾て藻あ紅葉乃橘 紅葉乃
拾百きく拾て藻あ 紅葉乃橘 紅葉乃
拾百きく拾て藻あ 懸あ 拾乃葉 藻
名葉あきりこく 拾乃葉 藻
名葉あきりこく 拾乃葉 藻

同と三偏 百 一百宜二百代字面と経大内云ふ事 井代
俗わとて経部門乃代名御厨 百 一百代字面と経大内云ふ事 井代
の名乃行て云若打越不宜三百きく 来み 井代 俗
一かく 一夜震かく 衣かく
且漢朝みく 一 衣かく
名 藻乃花 京川 藻乃花 京川
藻の宮 藻の宮
史 拾乃葉 拾乃葉
武著う武 武士御 一人
見きくれ内二 拾乃葉 幼言中のくまの 武士御 一人
口くく葉 二百去 葉字 葉字

望月（モチツキノコヨ）秋百千（モヽナドリ）百千（モヽチ）鳥雑（モヽ）蘂（シベ）の色（イロ）

出（イデ）水色（ミヅイロ）の衣（キヌ）

ちくさ花（ハナ）の袂（タモト）赤（アカ）

二色（ニシキ）金赤（キンアカ）紅葉（モミヂ）赤（アカ）

紅葉（モミヂ）赤（アカ）

うすこう

うすこう

人てゝ

もゝ

やねのうら

二色（ニシキ）

沈（シヅ）

と

詞（コトバ）

持二色（モトニシキ）

戻（モトル）

指（サス）

紫（ムラサキ）

面（オモテ）

玄（モトヒ）

寺（モル）

同代（モクダイ）

非人（ヒニン）

佛（ホトケ）

拙（ツタナ）

もゝ

や

早（ハヤ）

もづく

ゆ

元来（モトヨリ）

ゆ

ろく

諸白（モロハク）

面（オモテ）

如（モシ）

拙（ツタナ）

もゝ

月（ツキ）

主水（モンド）

変（ヘン）

非人（ヒニン）

傷（ヤブ）

あとはてら

桃（モモ）

桃（モモ）

花（ハナ）

ゆ

ゆ

ゆ

てをあるハもの 股をはく 股 跡 尺表 ありあり 屠乃字四

ろさ二

瀬 二名 所二 歳 歳の神 歳の神 荊 二蜘 節分 節分

節會 雑くおせちくさを行乃節会と 関 一名所五畿 畿とらもしよ関

あとりせいそれくよまをおく

二名ちん京一双上四賀白鼠仕てくるー 賀城へ掛 賀屋 賀の戸 所五

うーすー賀ーすりハこ名ちりあり

よ二 白去 せっく 二名ちをせく酒をせ くわせきゆとせくあるくかりも

了を四れ賀よ面とをらうんと続ってハ二名ちく

せんをるうてん せする 当二名ちりく せする せする 洗濯 一わよ

よせぐりたこ名ちく 一別の

折 擂 一表訓 呉乃人名ちくる 嘆 伏 絵 伏て 表 錆

二名ちりく

一せんる月 膳 一わ表一夫のわくの墨定せき膳膳おを落 雪

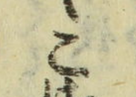
あり小一 わ表と世つわくよ表ちよ膳ちく二名ちる

隠 ちて西城周ちも不ちくるる表ちも隠 せんじ 地みいるる表面

ちりくりりり

せめて 二ゑ 又一 焼兵 尺 袁 せきで 一ぢうつこうん 西
と名 背本 展足 袁 ハ
二ゑ 先前 さきさきまへ 又二ゑ 成敗 ゑ 一ぢうこうん
と又 聖代 一ひおり 一ぢうこうん 高祖 ゑ 梅檀 一ぢうこうん
二ゑ 聖代 ゑ 一ぢうこうん 高祖 ゑ 梅檀 一ぢうこうん
煉 仙洞 ゑて 袁の洞み 節孝 人 ゑ
ゑり 仙洞 ゑて 袁の洞み 節孝 人 ゑ
の名ゑ行ゑ
白戸 一ぢ戸の 射 一せ 船 ゑ せんくるま 一せん
白戸 一ぢ戸の 射 一せ 船 ゑ せんくるま 一せん
宣下 一院宣 ゑ 政道 一まつり 禅 一天 ゑ 受 孫 ハ
宣下 一院宣 ゑ 政道 一まつり 禅 一天 ゑ 受 孫 ハ
ゑ 一ぢ
枯言 成巾 一ぢ 一誓 善 二ゑ 一ぢ せむる せめて
願 ま 一 願 ま 一 善 二ゑ 一ぢ せむる せめて

物 大勝 相人 餓 刑 一ゑ 禁 尺 袁 焼亡 一ゑ
物 大勝 相人 餓 刑 一ゑ 禁 尺 袁 焼亡 一ゑ
玄迦 禄 一 鬼亡
玄迦 禄 一 鬼亡



さてこれ 給 虫 二 秋 せ 涼 き 一 ゑ 納 涼 袁
さてこれ 給 虫 二 秋 せ 涼 き 一 ゑ 納 涼 袁
文 ゑ ゑ ゑ ゑ 一 ゑ 一 ゑ 一

廣 水色こい沢ヒロ乃スミ

硯 一硯屏風所の硯海一硯の名は海色ゆゑ
石ゆゑ名所の硯なり 杉原高じん石西と海
ゆゑ名所の硯なり 紙山ゆゑ紙屏風哭同お紙屏風那のゆゑ紙
のゆゑ日西と海ゆゑ屏風世ゆゑ女房の為に紙屏
ゆゑ所の沢ヒロ 沢広ヒロ 沢ヒロ 綿ワタ 綿ワタ 炭スミ 炭ヤキ 炭スミ
一炭焼炭竈ゆゑ一ゆゑ人俗ゆゑ炭 炭
二日ゆゑ一ゆゑ炭ゆゑ 扇セン 扇セン 字ゆゑ
扶持スケ 一焼ゆゑ 巣ス 巣ス 巣ス

縮袖 情 摺 四 斗 さとる 二百 菫 二 透垣 所 所

貝 二 鞠 四 斗 嘆 一 嘆 ふ ふ 嘆 ふ

二 ふ 二百 ふ 爆 一 ふ ふ

ふ 貢 ふ 居 ふ ふ 二百 数の字 四 鯖

ふ 集 二 数 一 ふ 道 一

ふ 推量 一 ふ 二 押 ふ

ふ 二百 謀 ハ 二

ふ 尺 義

鋤 一 ふ ふ 都 陸 陸 陸 ふ 四 ふ ふ

三百 ふ 字 二百 ふ

位吉市 ふ ふ 蓑 微 一 ふ ふ 四 ふ ふ ふ 二百 ふ

ふ ふ ふ ふ 四 ふ ふ ふ ふ ふ

ふ 雲 一 油煙 一 ふ 蔑原やう ふ ふ 会殊 一 ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ

三 ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ ふ

〇 假名遣大抵

一中乃えと書半　本とゆとよをいれかえたるもの

越 こえ こゆる　清 きえ きよる　関 せきえ きせゆる　孤 ちえ たゆる　消 けえ きゆる

芝 かすえ かすゆる　燃 りえ りゆる　肥 こえ こゆる　金 いえ いゆる　○此類中めえ をゆる

一かと書くべきかなのハ其字ハ名をとれそこなみるハ名をとれそこなゆる

ちかい　庵 アン　かい　新 シン　しん　数 カン　うる　潤 ニン

一ゆ乃と書事　小乃字ゆゑ書ゆる

とぶ　小舟 をぶね　とがる 小川 をがわ　をゝ山 小谷 をゝたに　をり 寒小

をゝ山 小猪 をゝ　をゞ 小梯 をの　小野 をゝ　をの 小袖 をゞ　をゞる 小車

一物乃紋字のいづまも淵のと成へし

玉乃と　琴乃と　貴乃と　春の人と

一とをゝ　をゝ　をゝ　をゝ　淵乃をゝ

をゝ　をゝ　をゝ　をゝ　をゝ　をゝ　をゝ　をゝ

一物乃者のいづまも淵のをゝ

とゝづま　淵のとゝ　風のとゝ　とゝの川　とゝの川

きりの者とゝ　いづまも奥の杉の者ゝ

一とのき　とのづゝ　とのづゝ　とのづゝ　こゝゝゝ　そハゝゝゝ

一とゝゝゝ　女房乃者とゝ　淵のをゝ

一とんゝとゝ淵のをゝとゝ　奥の杉ゝ

一奥乃杉書申　大の字のいづまも杉くのお成へし

杉かゝゝ　大宮　大宮　杉かゝゝ　大宮　杉かゝゝ　大宮

おりふし　ねぶふ　孔　むふ　剛　いふ　言
はげふ　裏　ほふ　迷　たぐふ　孔　あふ　洗
ちふ　拂　ながふ　遠　たよふ　法　ちふ　誓
ちふ　遠　たふ　俤　ともふ　伴　ふふ　荷
いちふ　祝　とふ　唱　うふ　添　さふ　俵
あふ　相　くふ　叶　ふる　狂　うやま　敬
をふ　救　ひろふ　拾　ゆをふ　許　むふ　向
きふ　落　えふ　砕　ゆづふ　味　はふ　偽
ちふ　宣　ちぐふ　随　ふりふ　占　うふ　占

あふ　祈　はふ　縛　きふ　蝶　やすふ　表
たふ　乃ひと　隆　ゆるもの
ひきふ　弄　こふ　菩　ふる　文　うまふ　慈
ろふ　俤　まる　地　あふ　与　ちふ　調
さふ　業　う　姫　植　ちふ　加
世　ふ　袋　ちふ　加
ひ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
みふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ
湾　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ　ふ

一奥行之下に書事

こゑ　色　すゑ　末　ゆゑ　贄　いゑ　家

うゑん　太鼓　さゑん　左繼　うゑ　上　ゆゑん　左衛　さゑん　左衛

太行くの之かく事あまくさりあづきりや

一端乃いをトに書事　此段端のいを下にかく

かい乃ねさめ　ひさい　らいさい　たいゑい　ゑいく　さいく

一中行ゐを書事　ゆゑさいかゑ兵只一ゑのよゑむ八ゆれゐゑ一なゑゑ　ゑ兵ゑ井石事ゑ後きちるよゑ河てゆれゐを也

くゑる　たゑゑる　うゑ井　うゑかゑり　ちゑる　たゑる

けゑゑ　ちゑて　ちゑて　きゑる　きゑる

よゑる　きゑる　いゑる　ゑ井　ゑゑまゑゑ　。此段ゑゑ

一ゑ行字トに書事　下れひらきゑれちゑれ字之

ゑゑ　俊　ゑゑ　清　せゑ　かゑ　雑香　ねゑ　女房

ゑゑ　日遊　ゑゑ　ゑ　ゑ　ゑ　堂塔　ゑゑ　奥陸

ゑゑ　倩　ゑゑ　雑

右ゑのゑゑむ字井トゑゑと後ゑ太異ゑれ字ゑ一訓ゑ後

ゑゑ八ゑゑと字ゑれ字ゑれ字ゑゑと後ゑゑ一ゑゑて後字ゑ

ゑゑ字ゑゑ

一む乃字ゑゑ行ゑゑむ事　口ゑゑて後字ゑゑ乃字ゑゑ

むもれ木　むもれなるて　むもれ葉　むもれ山風

むめ　むま　うゝんもむまぐ

一てゝある文字ハなゝきを

冊波をたゝき　芝蘭とをるゝのあるを　蘭をらゝ　雞鶏をあゝ

一つゝんだうハ　つまゝゝんと云ゝ　一把たまゝゝたゝんと云ゝ

右はおかれゝまゝゝる俳名おかゝ　字ゝゝりゝゝゝ

はゝゝ　ゝゝ中乃ゝ奥乃ひやゝぐ　おゝゝ乃ゝゝ　ゝゝゝ

半もゝゝるゝゝゝゝ　ゝゝゝ　唯俳名選抜第一隅

已ゝ　余ハ準ゝゝゝゝゝ

漢和式

一　茅唱句之事

茅唱句ハ発句乃半ゝ出来乃頭ゝ内乃雷字

を除きゝて脇の句乃韻字を字ゝゝたゝゝゝ

必有鄰　花見

芋句乃鄰の字ハ諫鑠乃韵の雷字なり花の

字ハ麻乃韵乃雷字なりゝハ二ツ乃雷字を除きて

何れも韻字を脇乃句乃韵字を云ゝ　但一ゝ

句ゝハ韻字ゝゝゝゝゝゝゝ俳諧ゝ

あるて其かまひなし

㊁二四不同之事

●二●○四●　毎句二と四とを不同よしとす

仄平平仄

然れ二字め仄字なれ共四字め平字にしたる是

●是い平字にても仄字あるても兩韻なるも是

ゆへかくのごとし

●○○●　めでたく成とも是なり

○●○●　然れ二字めと四字めと同じ韻よ

○●○●　りなを嫌ふなり

㊂二字一平之事

上乃句●●●○●　是二四不同なれとも四字仄字にて

下乃句○○○●○　本字八一字なりてあるきなり

但し表題乃句ハ文四字にて一字仄字なり

あるきなり

あるわゝ百韻より一所ハ魁とする事なり

㊃題下三連事

上乃句○○●●●　是二四不同なれとも仄字三字上

下乃句●●○○○　ゆきあるを下三連と云て特に字なり

是も下へ平字三字なれとも故あるきゝ

㊄平仄起之事　二字めを起とする

上乃句●（平起）○○●●是平起ノ時ノ對句ハ仄
ツイ●●（仄起）●○○（擧）起ルモ亦之式ノ上乃句
上乃句○●（仄起）●○●付句ハ同ク仄起ルモ亦也
ツイ●○（平起）●○●又此對句ハ平起ルスベシ
亀角上乃句と下乃句ノ仄ハ起を違ヘテ上下ノ
句と上乃句並ノ仄ハ同ク起ルモ亦也
六 漢和一座法式之事
面八句乃内漢四句和四句也面の内對一所
ヲ定ベシ義乃裏（ウラ）ハ對ヲ不者

漢和乃時ハ面の八句ヲ和ヲ漢乃時ハ八句ヲ
漢ヲ和ノ擧句もかくれおろ
面八句乃内朱（シュビキ）ノ句可禁 朱引乃句 奥参載之 但
第唱句ハ各別乃事也
百句乃内漢五十句和五十句くらいかぐら漢ヲて
も和ヲても二三句ハ漢ノハ多くかつず
花月乃内漢二句 和の方二句
月和漢ヲ入て三句五句漢ヲ多くもかつず
雪五ノ漢ヲ多くも和ヲ多くても五おろ

二句あるいハ両方へ一句ばかりなる甚だ美なり
て出るハ和漢共にかたよ一句ばかりなるべ
五句玄三句玄乃物ハ甚多く韻字に如何ばといふ
法なし　尤物ハ法なしすべて元魂痕の
韻乃第三しる

通籠番月一夜

番乃字元魂痕ハ韻ハ誰ハクるかさ
ばかりなりいさむとよむ時ハ歌乃韻ハて
音ハ也元魂痕乃韻ハ故ひて不著

韻外字ハ三乃韻より法なしかるべ
漢句和句共に五句まて淡くべし但漢乃句對ハ
至て六句法なしかるべ和乃句ハ五句を
混りとなく
夢想乃漢句ハ七言付句也漢ハ七言八句
なるべ七言八對ハ長短下ハ五言ハ
なるべ　長短下ハ常共俳諧同ハ也
疊字ハ濯字乃一座ハ八句まてなるべ　故ハ
同一面を嫌ハ也上中下と重所をもかるべ

候名書い一座一ところ
漢和乃きい発端りいずれく第唱句は内の平字
乃韻を除きて外乃韻字を
ゆく
和漢を和乃句は韻字を数ずず是も和は文平句
内乃平字を除きて脇乃句は韻字を字居べし漢
乃方かい韻字は紙をゆるる也
韻い新字は俳諧の字也常は俳諧は下乃句毎は韻字をもて
ゆるし是を発句乃内は平字を除きて脇乃韻を

こもるく世かい別義かし
七 對句之次第
凡十二門乃内乾坤を時候と對ず黒白と食服
とを對は用ひ態藝と虚実も一切は用ひ
但態藝乃中は軽くして虚実はいるる字なり
又虚押乃中は強くして態藝はいる字なり
これを凡合て対をべし
人倫は字は気形門乃中は有とのべどを別は擇出
用ゆべし出魚鳥獣等乃生類と人倫とを勞

對りさへうべ
合掌對として悪きなり是は両乃手と合する事に
付たるを嫌るりたとへば天に地有て寒に暖長
短大に小善に悪めり此乃ごとなり
或人曰合掌對いかゝ物ぞ其作意如何
むべて曰たとへば裏筆唱句は
蕨鱈に朱茄子
是れ合掌對して
増鯖に青蓼鰻

唱句は論語陽貨乃篇り惡紫之奪朱
紫也とり続よりをがりて作まり俗は朱
鱈といひて切れ乃赤きなり茄乃色をいて
紫をとゝせるあ對乃句い鯖を青蓼といい
つり蓼りて鰻あくよせりへ書きをま
ーあるくしきまけ乃色りて魚は魚色字
とるもの食類と食類立乃花を合るる
ろべとゝ対たるとゝ又は唱句は合掌對
なりゝざる對あるべ

曇堂先生草　籠

芋魚より出汁と芋汁は食物籠は芋汁也
加様は有度之句傍まことにてこれをも
同よりて作所之五字八間二字ばかりの
ちとまた一句代佐之とよきを事ら決べし　紹也
ぞも一句はくらべ合業射とは雑なれば決
八　俳諧書之事
中興以張九成日本乃いろはを書史會要ま載
とり故ま往古より用ひまれり射句はも多し

たとへば月をつき山をやま亀をいろをかく類
あり句はくのごとくにや俳諧ま用ひざるべし一無
まて形ばかりの俳諧がきの文字はかくに記ま

辻堂　白壁　楊
ミる　と茂　助
テン　て　宗　因

辻堂乃白壁楊ま残れる巡礼あるの影事ま
句作るわそわま所俳諧の一體あり

九 連綿字之事

連綿字ハ冠ノ篇ノ偏リノ下ノ共同ノきとなり 鬱だ

乾坤ハ宇宙 廣廡 坻壇 囹圄 朦朧

気形ハ麒麟 鳳凰 蛤蜊 鴛鴦 猿猴

支躰ハ肺脾 鬢髮 髑髏 肝膽 眼膜

態藝ハ

齟齬 婀娜 躁躁 愨懃 徘徊

生植ハ桔梗 芝蓉 枇杷 菖蒲 蒲萄

食服ハ枇杷 裲襠 袈裟 醴酪 饂飩

器財ハ琴瑟 舴艋 幣帛 柄枘 蓬篠

右連綿字ハ連綿字ノ大旣ヲ上ニ出シタルモノ 對ヘ

この類

十二物之事

是い別るゝ物と二つとせて連續するをいつり聲言ば

乾坤ゆてい　陰陽　春秋

星霜　雨露　山林

気形ゆてい

亀鶴　犬鷄　龍虎　狐狸　燕鶯

文綵ゆてい

容顔　頭頂　眉目　心肝　平足

態藝ゆてい

往還　来　邪正　縱横　得失

生植ゆてい

松菊　蘭蕙　榛栗　桃李　楊竹

食服ゆてい

酒茶　澆羅　酒肴　錦繡　肴菜

蒸炊ゆてい

金銀　甲冑　弓矢　力杖　筆硯

この外何程もあ〳〵蒸い大暑を救ひ

十三物之事

貪嗜凝　儒釈道　過現来　身口意
天地人　智仁勇　名うれ多まさ多へし

(十一)底返りの事

底返りといふはよみ下を表へ返しべて下
ふいふ事をいふ

賢古　越学　蒲池　納涼　無心　宥経

やうに類へかくのごとく句まえ同じく底返りれ
字うて對とへし對句訓すて付るはあしし
又唱句返りてよみ多るを底返りて對を分ち

可とは字に類のまことをへ一四ヶ字を一三と部分のこ

(十二)朱引之事

朱引をはへ乃名所の名書物乃名年号官位
これらも也人乃名りへ人は名國の名ふは国の名それ
くも對とへし平仄さへありて志めて字對も拘
つるへうす尤字對よくへ形似すありへ其名辯へ
山谷とあるに東坡これ二字たも乾坤門の字あり
黒主とあるは赤人これへ黒と赤ハ光彩門の字主
と人とへ気形門乃字をもれく註付ひ上乃対あり

子路う顔淵は論と関しくは乾坤門の字にて対を
ともふは三形門顔は支離門にて此二字対を成
ともに朱引なる故対とも多く時改は額朝なるの類も
是うて初るへし但唐人乃名と日本人の名と対を
へし或は中谷は道風口字は乾坤門にて字は紙
対なれとも山谷は唐人道風は日本人なれとも乃
顔響く対なるとも名所年号等も同意
所乃名は上野は近江松浦は篠原なれ字
対して上巻又鞠なるは高雄三室八幡なとは

字は対せされとも朱引故対よろしかるへ

朱引狂哥

右所中又は名たとえ宮乃朱引とかはりたるへ
二ツ引中乃朱引は物の年たは二ツは年号そし
(西)文字用ひ様乃事
麝は香乃字かなりとも麝は生櫨と
乃香異なれは用ひ対は紫なる也芳は字か
うたとよむ対は虚押よりて香と青り
月色は花乃ありて生櫨り改へし柏かく

とうむるわゝ虚押中となる通音より用多所へ生
植よなる茂 秀 蕪乃字は類も同多 同音より
用きたうるわひ乃ゝりて乾坤ふもなる用 寂
幽乃字も志つなり詩乃字詩を作多つるれゝ詩
字なり詩文詩書乃ゝり用ひてハ巣戯ふも多る
文書章乃字も同意ゝ桐世字きりとよみてる
生植なりおとゝよみてハ巣戯なり 梧の字も
同ふ琴りなるゝ狩世類乃字たゝ栽と
乾坤と気形と通用乃字

日 月 星 虹 霓 雷
乾坤と巡戯通用乃字
軒 扉 門 戸 榜 瓦 甍 桴 碑 牀 石
灰 炭 楣 棚
乾坤と支辭と通用の字
趾 牙 気 夢 角
乾坤と光彩通用ゝ字
日 月 星 電 露 煙 煤
乾坤と態藝と通用乃字

夢中封居處虛空濕泥堆載

代遠近上下內外前後表裏

乾坤と生植と通用

林菀森節

気形と態藝と通用

雄漁樵牧

気形と文辨と通用

羽翼鱗翰(ハネ)角毛

気形と光彩と通用

日月星烏(黒き)兎(皐心)鷺(日上)螢

気形と照財と通用

貝蠙鵜

気形と人倫と通用

雄漁鰥獨孤

人倫と態藝と通用

賢愚樵漁盜賊

自佗雄勇侶

文辨と態藝と通用

聾 鬱情 智 嗜 病 盲 瘖

生植と為財と通用

架 茶 茗 香 瓢 藥 柴 薪

生植と光彩と通用

紅 翠 緑 紫

為財と態藝と通用

權 緑 朽 飾 詩 文 章 歌 謌

為材と光彩とかめる字

丹 朱 金 銀 墨 玉 碧 粉 錦 黛 畫

白 薄 泥

光彩と態藝兼ル字

清 淡 濃 濁 染 然 薄 泥

數量と態藝と通用

重 皆 分 長 短 多 少 細 同 諸 數

幾 雙

右如件乃文字形容ハ是對句ニ成まりある時ニ用ユ

(十五) 假名書乃文字ハ末

月と都嗜ヌ禾計 雲と朽岡 風と加前 雨と下ノ米

霜を辞蒲　雪を攸計　夜を擶落　霧を吝利　山を夜漫
水を明東　珠を儻賞　集を分直　墨を蘇弥　絹を法奇
硯を松蘇利　頭を加是羅　斗を提　酒を沙嬉　杉を松計
松を堀止　酒盃を脳加勝計　強盗を太宿鼻隨

此類乃かなかき不可勝計あり

(十六) 漢之句四季文字事

○春

腹芳　麦の乃芳　麦紅　日上　数気　米の気　燒痕　やけ乃つくる
躇青　麦の色ふむ　芳草　麦の芳　晴糸遊　まきて見る糸遊　あるをいふ

如藍水　麦の乃あるみ　山如笑　麦の山乃笑分　山紫　日上
晴嘯　麦乃見るやうなり　鶯雨　鶯と雨と　乱繁雪　風と雪と小柳業乃事あり
杏村酒　酒を酒村りハ　花信風　花の開むとする風　鶯樓　鶯乃樓
折の枝よりもこの方ハ　禽囀碑　鶯の麦ハ色乃　春張　麦乃
布をさらすやうなる　日ハ雪まれのと　花脚足　脚ハ足　護山鳥　山花を護る鳥
けてもれ花はまた　花有約　花よりくるくると遠へ　肅気　麦乃あるくら　桃醉　乃
まるのけるうの乃酒　利雪　雪のむ利　利雲　日自雲　紅意
雪ハ雪のくるくる　緑情　紅意ハ花の乃緑情ハ　梅小字　むめ小字ハ小乃字に
恋花の浅緑の情ハ　あるが小乃字に

梅花暦 梅の花の開くを以て暦とす

春一番 麦の早く成る麦の芽のもえあがるを云

春已抄 麦の未熟を云 月上人

餞春 春を惜しむ

鶯餞 月上人

○夏

清和 四月の異名 月令の文に見えたり

緑蔭夏 夏の木陰

迎梅雨 四月の雨

新緑 夏の木の葉

梅天 四五月を云

花富貴 牡丹を云

十三紅 ひとつ八月十三日 緑勝花 花を緑葉勝る

山如滴 山の緑

霖 五月雨

梅頽淫 梅すたれ頽れくるうるを云

紫繻繻 青白二色

荷雨 夏の中比のみなり

老緑 夏の中比のみなり

南薰 南より来る風 夏の南風

暑 寒熱 三伏の暑寒 夏

驅暑 馬を駆るごとく暑さを去る

早霖 夏の時雨

炎塵 夏の暑き塵

涼書 夏の天気よく物の本を涼

暑如酒 暑き酒の如

人の夏 炎埃張 かのほのぼのとくもりさかり

暑埃塵 同上

炎炎雲合 暑き雲

風解慍 暑き時風吹いろうとくこと

秋近期 夏は未門なれども秋の手くるを云

○秋

初涼 新涼 秋の初

金気 秋の季 西八月

梧葉 桐の葉

搬暑 暑を搬去る

黄雀風 雀の初風

梧雨 桐の葉に雨のふるが如し

金雨 秋の雨 無語 秋風のうゝを 桐凉 桔梗乃さゝ
人の語はゞ
素景 秋乃景色 柳風 秋風より
秋の白さ
紅樹 同上 萩落雨 木乃葉
音うゝ
雁雲 天の雁
かゝらもせ
寒砧 うそさむき
冷秋
山容瘦 草木乃
山乃

きゝ川のゝ
飄錦 りゝちの

○冬

柑菜 凍蝶 凍鶴 燒葉 葉を焼
蝶
冴時
凍雲 空天乃
冴
月明 八月乃
明筆 筆
いきをもそやゝ
凍礎 凍礎
冴時月
月あ
霞暗 霞
月あ

○下

短景 短乃日
短
鮫炭 鮫
すゝとや
釣雷 釣
敲雪寺 敲
雪
探毒 探毒
毒
驚暦左 年
左
腓 腓
春信 春
信
歳云暮 歳云
除の
守歳 守歳
大晦日乃夜を
守

○雜

雲龍炭 雲龍
雲
金石友 金石
変せぬ友
詩肺淨 詩肺
肺
遊仙枕 遊仙
枕
雲似蓋 雲似
雲乃
竹樓 竹樓
竹
樓

紅旭 紅日 紅衣 酒乃紅 紅女 物を織女を云紅乃字ハ赤篇ニ工と云字を加くるゆえ其いとをとるゆえ

山開 山のろ〳〵ようやくきがるゝ

山是 吉野ありてかりゝめ初ハ

釣深 書をうゝて つゝさ 黒胡夢 ゆるゝの 蝙室寒 くらつ ゆめく

〳〵おき家く 彝姉雪 人のよう〳〵 風よまゝ 湖似鏡 水海の面晴て かゝみよ地ちゝ

歌欵乃 舟歌 灯底 さのし火の みけゆ 客 旅ゝ 一葉舟 舟ゝ 橈

帰 漂泊 めゝの字 上リ 生涯 錦字 意 御 蒲葉 意 私語 意

班姫怨 班ハ男ハ 楽ゝ 吾 名利 浮跡 出所 幽所 氏類 懐

禅定 鍬 秋乃扇 釈意 ○右ゝ類 新撰 他準之

大尾

跋

溝口行亭ゝ 人筆 ハ云 ゝ 意 ゝ

清書 ゝ ゝ ゝ 名 ゝ ゝ

かゝ ゝ ゝ ゝ 数量 手ゝ

於 ゝ ゝ ゝ 口 ゝ ゝ

俳風 ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ

恋乃かをあれの虫とんも分うつきす
此一帖のうくいつるまゝとあらめん事よ
さもけありとうあきくうに竜とそのあ

露吹虎
和及

元禄十年丁丑孟春穀旦

洛下書林　新井彌兵衛版

政振をてさまの記之跋

誠式之祖変泉長頭翁之嫡門良徳之末
良保孫之正統伝〳〵常矩より
和及竹亭五師が導〳〵く手よ
亀林と名注者ら統〳〵もはるゝふ
虫すと勢ちうきゝ〳〵とはをさまき
又国を兼くは式書彦流著〳〵て
西変段刻〳〵新井氏の家よおく勢
八ゆて世を久〳〵きも若八立ひさる

の道[illegible]
[illegible]

嵯峨稿　石斎庵　[illegible]書

安永十年辛丑正月
京寺町通五条上ル町
田中庄兵衛

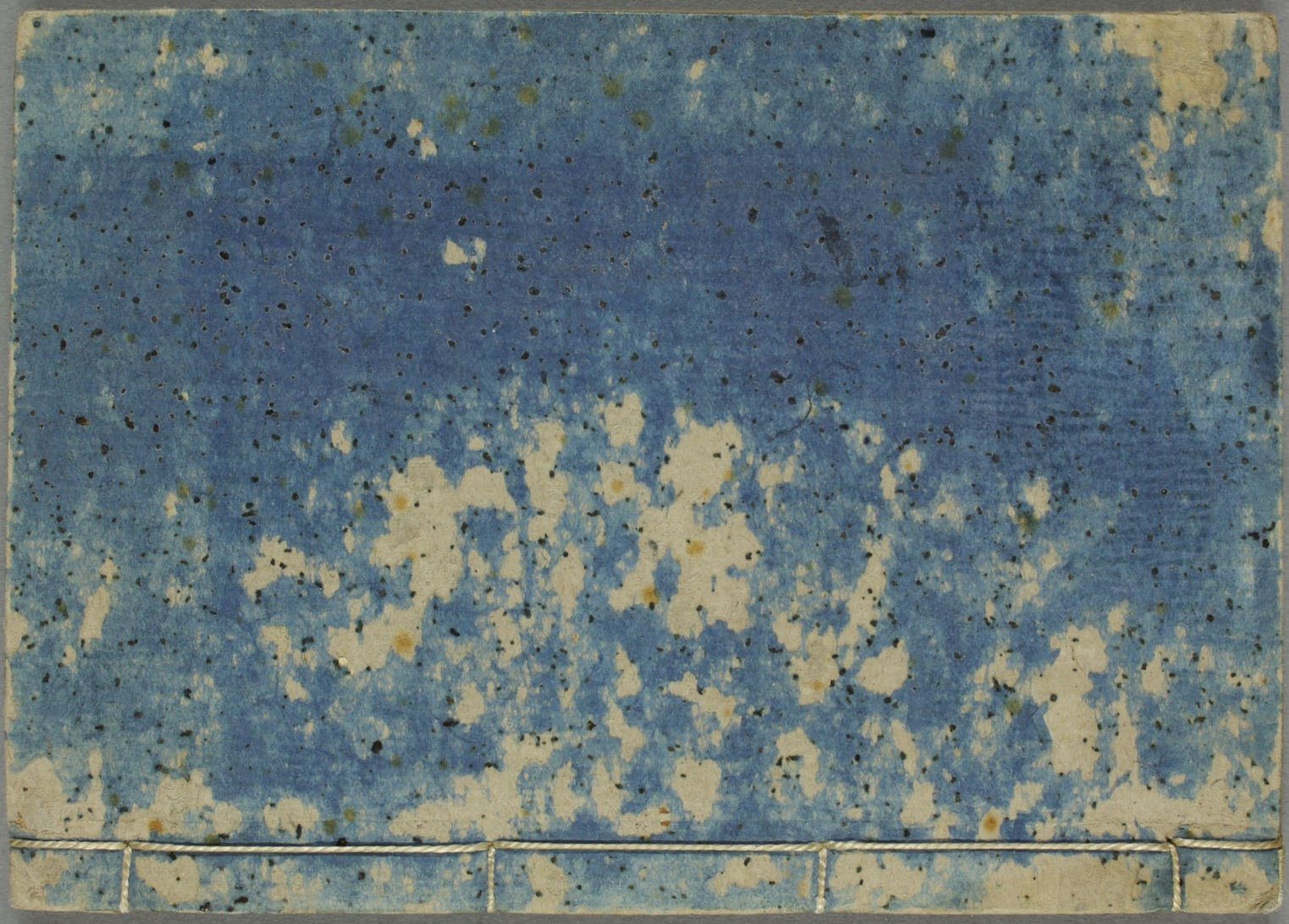
書林

誹書目録

誹諧新式大成	鷺水	二冊	同誹諧[illegible]巻	竹亭	二冊
同和[illegible]加[illegible]論	千梅	三冊	同[illegible]板		二冊
同[illegible]白尾	青夫	四冊	同拾遺	丈石	一冊
同糸切歯	春耕	四冊	同暁嵐集	方山	二冊
同[illegible]大根	梅尺 麟那	一冊	同図盃	風狀	一冊

同道遊大成 飛良 二冊
同寄垣大成 鷺水 二冊
同花火大全 立圃 一冊
同初學抄 德元 一冊
誹林良材 鷺水 三冊

同番匠童 和及 一冊
同爺屑 同作 一冊
同ちゑ立 好叟 二冊
同系杉明 風狀 一冊
誹諧筌 丈石 一冊

皇都書肆 田中汲古齋

B228